

第2回 足立区文化・読書・スポーツ推進委員会 読書部会 次第

令和7年8月22日（金）
午後2時00分～4時00分
学びピア21 5階 研修室1

1 第1回読書部会における主な意見及び今後の方針について ≪資料1≫

2 読書分野の評価について

- (1) 各委員による評価の集約結果 ≪資料2≫
- (2) 読書部会の評価（案） ≪資料3≫
- (3) 意見交換・質疑応答

3 読書分野の区民アンケート調査票について

- (1) 新旧対照表、読書部会の区民アンケート調査票（案） ≪資料4～6≫
- (2) 意見交換・質疑応答

4 今後の予定

- (1) 第3回 足立区文化・読書・スポーツ推進委員会 全体会
日 時：令和7年9月26日（金） 午後2時00分～午後4時00分
場 所：学びピア21 5階 研修室1
主な議題：各部会における審議結果の共有、3分野の意見調整など

【配布資料】

- 資料1 第1回読書部会における主な意見及び今後の方針
- 資料2 読書部会 評価集約結果
- 資料3 足立区読書活動推進計画 施策評価シート（案）
- 資料4 区民アンケート 新旧対照表
- 資料5 区民アンケート調査票（16歳以上用）（案）
- 資料6 区民アンケート調査票（小5・中1用）（案）

第1回読書部会における主な意見及び今後の方針

No	意見	区の回答・今後の方針
1	＜施策評価シート全体について＞ 評価基準にある「十分な成果」とは、明確な基準はなく感覚的なものか	最終的な評価は委員の議論を通じて決定します。
2	＜施策評価シート全体について＞ 定量的な指標の達成度だけでなく、現場の感覚や中長期的な取り組みの方向性を定性的に評価することも重要である	数値による分析だけでなく、利用者や現場への聞き取りなど、定性的な評価の導入も検討します。中長期の方向性については、引き続き施策評価の中で実施していきます。
3	＜施策2-1について＞ 「出張おはなし会」と「保育園での読み語り推進」の違いは何か	図書館の出張おはなし会は図書館の利用促進も目的としています。
4	＜施策2-2について＞ 大活字本や外国語図書など、特殊資料の貸出冊数を種類別に細かく分けて知りたい	令和6年度の実績値（貸出冊数：21,058冊）の内訳は、次のとおりです。 ① 大型図書 1,731冊 ② 児童-大型 3,104冊 ③ 絵本-大型 925冊 ④ 大活字 9,315冊 ⑤ 外国語図書 4,860冊 ⑥ 点字図書 124冊 ⑦ 団体-大絵 807冊 ⑧ HS 192冊
5	＜施策2-3について＞ 図書貸出冊数に電子書籍は含まれるか	電子書籍の貸出冊数は含まれていません（施策2-1で別指標となっています）。
6	＜施策2-3について＞ 区民のうちどれくらいの割合の人が図書館を利用しているのか	世論調査では、「図書館に行く」と回答した区民の割合は13%にとどまっています。
7	＜施策2-3について＞ 東京電機大学の図書館が、研究目的でのみ区民利用を許可している点について、今後、サードプレイスとしての利用拡大に向けた取り組みや課題解決の検討を前向きに進めるべきである	セキュリティ面を考慮した大学側の事情もあるため、調整が必要です。
8	＜アンケートについて＞ 新規追加項目 「居住年数」の追加の提案 長年住む区民と転入者で文化・読書・スポーツ活動への関心の差があるのか把握するのはいかがでしょうか	世論調査の質問項目にも含まれており、分析に活用することは可能ですが、質問項目数に限りがあることから、今回は追加はしないこととしたいと考えています。

第 1 回読書部会における主な意見及び今後の方針

No	意見	区の回答・今後の方針
9	<アンケートについて> 質問5「子どもの有無」 「18歳以上の子どもがいる」という選択肢について、同居の有無など、何を知りたいのかが分かりにくいため、より明確にすべきである	質問を「18歳以下の子どもがいますか」に変更し、当該選択肢は削除します。
10	<アンケートについて> 質問13 「将来について、明るい面を言うことができる」という日本語の表現が不自然である	衛生部で実施している「子どもの健康・生活実態調査」と足並みを揃えるため、文言の変更はしないこととしたいと考えています。
11	<アンケートについて> 質問13 「うまく対処することができる」や「きちんと挨拶することができる」といった項目における「うまく」「きちんと」という副詞が曖昧であり、主観的な回答を招くため、削除すべきではないか	衛生部で実施している「子どもの健康・生活実態調査」と足並みを揃えるため、文言の変更はしないこととしたいと考えています。
12	<アンケートについて> 質問21 足立区のアンケートは読書に漫画や雑誌も含まれており先進的である。	—
13	<アンケートについて> 質問21 学校の課題図書や授業で読む本が「読書」から除外されていることについては読書の定義から疑問である。	「読書」を幅広く捉える観点から、課題図書を除外する旨の記述は削除します（今後は課題図書も含めることとします）。
14	<アンケートについて> 質問23「本を読まなかった理由」 「近くに図書館がない」といった選択肢を追加するのはどうか	足立区には図書館が15館あり、区内全域で図書館は充足しているとの観点から、当該選択肢は追加しない方向で考えています（同様の趣旨で、世論調査においても選択肢から削除しました）。
15	<アンケートについて> 質問24「電子書籍を活用した頻度」 活用頻度だけでなく、どのような電子書籍が求められているのか質問するのはどうか	質問項目数に限りがあることから、当該アンケートでの質問は行わないこととしたいと考えています（別途、事業を実施していく中で個別に把握することを検討していきます）。

第 1 回読書部会における主な意見及び今後の方針

No	意見	区の回答・今後の方針
16	<アンケートについて> 質問25「過去1年間でおこなった読書活動」 「気になった記事を読む」のような選択肢を追加するのはどうか	「16歳以上用」の間19及び「小5・中1用」保護者向け調査の間6、子ども向け調査の間4に選択肢を追加します。
17	<アンケートについて> 新規追加項目「利用する図書館」 図書館を「利用していない」と回答した場合、その理由を問うサブクエスチョンを追加するのはどうか	(検討中)
18	<アンケートについて> 新規追加項目「居心地の良さについて」 「はい／いいえ」の選択肢だけでなく、具体的な理由を問う項目（例えば、どのような点が居心地が良い／悪いと感じるか）を追加するのはどうか	「いいえ」と回答した人にその理由を自由記述で確認します。
19	<アンケートについて> 新規追加項目「図書館職員の相談のしやすさ」 「行くけど相談したことがない」という選択肢を追加するのはどうか	「行くけど相談したことがない」は広く解釈すれば「いいえ」に含まれてしまうため、追加は行わないこととしたいと考えています。なお、「行かないのでわからない」は「わからない」に変更します。
20	<アンケートについて> 新規追加項目「図書館の満足度について」 「はい／いいえ」の選択肢だけでなく、満足度のレベルや具体的な内容（例：どのようなサービスに満足しているか）を把握できる項目を追加するのはどうか	選択肢を5段階評価に変更します。 ただし、具体的な理由については、質問項目数に限りがあるため、追加はしないこととしたいと考えています。
21	<アンケートについて> 新規追加項目「図書館の満足度について」 「あってよかったと思いますか」という質問形式では、「いいえ」と回答する人はほとんどいないのではないかと。NPS（ネット・プロモーター・スコア）のように、図書館の推奨度を何段階かで評価する形式にするのはどうか	「足立区図書館サービスデザインアクションプラン」の最終成果指標となっており、当アンケートで捕捉することを想定していたため、質問の変更は行わないこととしたいと考えています。

第 1 回読書部会における主な意見及び今後の方針

No	意見	区の回答・今後の方針
22	<アンケートについて> アンケートで「読書」という言葉を使うと、回答者は「文芸」を連想しがちであるが、学校図書館の役割が言語能力や情報活用能力の育成に広がっている現状と乖離があるのではないか	アンケートへの反映は行いませんが、新計画策定の議論の中で検討の対象としていきたいと考えています。
23	<アンケートについて> スポーツや文化分野の質問には「自己肯定感」があるが、読書にはない。読書は「程よい自己否定感」や「謙虚さ」を育む特徴があり、それも価値として把握する質問があっても良いのではないかと	アンケートへの反映は行いませんが、新計画策定の議論の中で検討の対象としていきたいと考えています。
24	<アンケートについて> 図書館の役割が「読書産業」の担い手の育成に広がっている現状を踏まえ、図書館が本の書き手、作り手、印刷など、読書産業の職業に就くことへの関心を問うような質問項目を加えてはどうか	アンケートへの反映は行いませんが、新計画策定の議論の中で検討の対象としていきたいと考えています。

【足立区読書活動推進計画（令和 6 年度実施事業分）】

施策の柱	1	子どもの読書習慣につながる機会の充実	全体評価
施策名	1-1	乳幼児が本に親しむ機会の充実	4

5（１）「現在の達成状況」への評価

【川村委員 評価4】 1 全ての指標において、目標を下回っていることは大変残念である。 2 一方で、乳幼児向けの取り組みは「あだちはじめてえほん」事業やおはなし会、読書通帳の配布など積極的に施策を展開しており評価したい。更なる周知や事業拡大に期待する。 【高祖委員 評価4】 すべてA評価ではあるが、事業番号3「幼稚園、保育園、こども園文庫の貸出の推進」において、目標値が下げられているのはなぜか？積極的に推進して欲しい。 【田口委員 評価5】 乳幼児が本に親しむ機会の充実に対する施策は、設定した目標を達成するための具体的な行動計画に沿った形で実行に移されていると感じている。これまで本部会で度々議論された事業の周知についても、昨年度より各事業毎に対策が立てられており、その結果が達成率として現れたのだと思う。 【中野委員 評価4】 1 親子で一緒に本を読んでいる割合が減ってしまったことは課題。親にきちんと本の重要性をわかってもらえる取り組みを進める必要がある。 2 乳幼児が本に親しめるかどうかは親次第。そういった点ではプレママ・プレパパ向けの読み語りイベント数がR5の実績値から大きく伸びている点は評価ができる。 【古瀬委員 評価4】 1 指標①②の実績値が多少なりとも減になったことは残念であるが、区が実施する様々なアウトリーチ事業への参加者は、概ね達成しており評価できる。 2 一方で、保護者が読書への関心を高め、読み聞かせをすることにつながっていない面が見受けられる。 3 新規でプレママ、プレパパへの読み語りイベントを実施したことは、大いに評価できる。	4.2
--	-----

【足立区読書活動推進計画（令和 6 年度実施事業分）】

施策の柱	1	子どもの読書習慣につながる機会の充実	全体評価
施策名	1-1	乳幼児が本に親しむ機会の充実	4
5（２）「今後の方向性」への評価			方向性
【川村委員 評価4】 1 「あだちはじめて絵本事業」での工夫など、今後の方向性については概ね評価する。 2 令和7年10月開始予定の子育て家庭訪問事業による絵本の配付との連携にも期待したい。 【高祖委員 評価4】 事業番号7の「出産前・乳児期からの読み語りの推進」はとても重要と思うので、産前講座などでの促しも期待したい。 園ごとに蔵書数の限りなどあり、難しいところはあると思うが、親子にとって一番身近な場所でもあるため、推進して欲しい。また図書館から適宜、園へ本の貸し出しや入れ替えなども行ってはどうか。 【田口委員 評価5】 R7年度 of 取組予定が、R6 年度までの課題を埋めていくために有効な形で組まれていると思う。に、1-3「各園での園文庫の貸出コーナーの整備」は積極的に進めていただきたい。物価高が進み、可処分所得が増えない状況下でのアンケート調査の結果、子育て世代の書籍への支出額が減少しているため、家庭環境で子どもたちの本との出会いに格差が生じている実態が生じていることもあり、積極的に取り組んでいただきたい。また、1-7のプレパパ・プレママ向けの読み聞かせイベントの充実については、今後の展開に期待しています。 【中野委員 評価3】 （短期） 引き続き、現状実施いただいている施策を継続してほしい。そして、スモールアクションでよいのでよりよくしてほしい。あだちはじめてえほん配布時にブックリストも渡しているとのことだが、あったとしても本の量が足りないと思う。年齢（6か月／1歳まで／1歳半／2歳～）それぞれに各12冊以上は紹介してほしい。（1か月に1冊程度） （中長期的） 各公共施設などでの読み聞かせやアウトリーチ事業を実施することは大切であるものの、より重要なことは外に出てこない親や子どもにどう伝えていくかだと思う。区民が受動的に受け取れる情報発信方法を検討してほしい。もっと足立区のいろんな部署と関わって、保育園、幼稚園オール足立で進めていく方向を前向きに検討してほしい。			3.8

評価コメント記入シート

【足立区読書活動推進計画（令和6年度実施事業分）】

施策の柱	1	子どもの読書習慣につながる機会の充実	全体評価
施策名	1-1	乳幼児が本に親しむ機会の充実	4
5（２）「今後の方向性」への評価			
【古瀬委員 評価3】			
1 親子で本に親しめる環境を創出していくため、さらに他部署との連携や民間機関とのコラボレーションを進めてほしい。			
2 「あだちはじめてえほん」事業のような悉皆事業をとおして、親子で図書館を利用するきっかけにするのは効果的である。そのためにも、絵本の見直しをし、配布する絵本が保護者にとって魅力的である必要がある。			
3 出産前の段階から子どもの読書活動の大切さを啓発するため、例えば母子手帳の配布時など様々な機会をとらえて読み聞かせの有用性を記載したパンフレットやブックリストを配布してはどうか。			

評価コメント記入シート

【足立区読書活動推進計画（令和6年度実施事業分）】

施策の柱	1	子どもの読書習慣につながる機会の充実	全体評価
施策名	1-2	子どもの読書習慣が身に付く活動の推進	4
5（１）「現在の達成状況」への評価			達成度
【川村委員 評価2】 区立図書館における児童書の貸出冊数は減少が続き、目標を大きく下回ったことは大変残念である。 【高祖委員 評価3】 事業番号2の「出張お話し会の実施」について、全体として上回っているものの、小学校・児童館などでの実施が減っているのは残念。 【田口委員 評価5】 1-2,1-3など達成度が目標値に達していない施策も一部あったが、出張おはなし会等については目標値が大きすぎたのでは、と感じている。また、児童館との連携には課題が見受けられる。おはなし会以外の施策を検討する必要があるのではないだろうか。また、実施回数を増やすためには、ボランティアの育成が必要だと思われるので、その対策を検討していただきたい。 【中野委員 評価4】 1 1か月に本を読まなかった児童の割合（小学5年生・中学2年生）については目標を達成しており、その点は評価ができる。ただ、R5と比べて減少している点は残念。 2 図書館の登録者数が前年より伸び率が減少している点は残念。 【古瀬委員 評価3】 1 対応事業の達成度は1事業を除いて概ねAであることは評価できる。 2 一方、子どもの読書習慣の基本ともいえる①②⑤の指標が目標値に届かなかった理由について、各施設ごとに振り返りをしたらどうか。 3 あだち読書手帳の配布冊数が大幅に伸びた努力は、評価できる。			3.4

評価コメント記入シート

【足立区読書活動推進計画（令和6年度実施事業分）】

施策の柱	1	子どもの読書習慣につながる機会の充実	全体評価
施策名	1-2	子どもの読書習慣が身に付く活動の推進	4
5（2）「今後の方向性」への評価			方向性
【川村委員 評価5】 子どもたちにとっては、分かりやすい目標設定や読書のモチベーションが向上する仕掛けが重要であるため、あだち読書通帳に50冊分の本のタイトルを記録した子どもにペットボトルカバーのプレゼントを行う取り組みは高く評価できる。取り組みの成果に期待したい。 【高祖委員 評価4】 事業番号3「児童館におけるおはなし会の充実」は、イベント実施はもちろん、イベントとしての面白さなどの工夫もして欲しい。 事業場の具7「放課後子ども教室における読書啓発」について、子どもが興味を持つアプローチも工夫して欲しい。 【田口委員 評価5】 1-5「あだち読書通帳の活用」における目標達成者へのプレゼント施策は良いと思う。地元企業とタイアップしたしおり等、より多くのプレゼント施策等を進め、利用促進を図っていただきたい。また、施策の中心が「娯楽的読書」という読書の楽しさに偏る傾向にあるため、より実用的な読書である「機能的読書」の必要性の周知と習得に対する施策を検討していただきたい。これは児童館・放課後子ども教室対策にもつながると思う。 【中野委員 評価3】 （短期的） あだち読書通帳については、50冊でペットボトルカバーをプレゼントではなく、10冊、20冊…と刻んでインセンティブを与えた方がいいと思う。50冊のハードルはかなり高いと思う。普段読んでいる子ならいいが、読んでいない子にとってはやる気を失う数値だと思うので早めにご検討いただきたい。 （長期的） 親の目が離れてくる学生に対して、より積極的な働きかけを検討する必要がある。遊びのレパートリーが増えて、読書以外に楽しみを見出す時期だと思うので、読むことのメリット、読む楽しさを積極的に伝える施策を検討すべき。			4.0

評価コメント記入シート

【足立区読書活動推進計画（令和6年度実施事業分）】

施策の柱	1	子どもの読書習慣につながる機会の充実	全体評価
施策名	1-2	子どもの読書習慣が身に付く活動の推進	4
5（２）「今後の方向性」への評価			
【古瀬委員 評価3】 1 今後の方向性として、アウトリーチ事業のほかおはなし会などのイベントを積極的に実施するとなっているが、本に触れるだけでは、小中学生の読書習慣の定着を図ることは難しいのではないかと。 2 例えば、ビブリオパドルや本を紹介しあうPOPの作成などの参加型の事業を展開し、子どもたちが自ら読んでみたいと思える本に出会える機会を提供してはいかがか。 3 また、子どもたちが本と出会い、親子で読書の大切さや楽しさを実感できるよう、家庭内での読書活動である「家読(うちどく)」の普及・啓発を実施してはどうか。 4 あだち読書通帳にインセンティブをつけて、子どもたちや親子連れが図書館に行きたくなるようなしかけをするのも面白い。			

評価コメント記入シート

【足立区読書活動推進計画（令和6年度実施事業分）】

施策の柱	1	子どもの読書習慣につながる機会の充実	全体評価
施策名	1-3	子どもや保護者に読書の楽しさや大切さを伝える啓発活動と情報発信	3
5（１）「現在の達成状況」への評価			達成度
【川村委員 評価3】 1 「身近な大人の読書冊数との関係」についての認知は依然として低いままである。 2 区立図書館での親子おはなし会の参加者数や中学生体験学習の受入れ数、読書週間事業の参加者数は横ばい状態で目標値を下回っており残念である。 【高祖委員 評価3】 事業番号2「プレママプレパパのための啓発事業」の未実施は残念。 事業番号4「各保健センターでの絵本の読み語り」の未実施は残念。 【田口委員 評価4】 やよい図書館の休館の影響で目標値に届いていない事業があるが、目指す活動目標に対しては一定のスキームが構築できていると感じる。「プレママプレパパ」のための啓発事業が未実施だったことは残念。 【中野委員 評価3】 R6の実績値がR5よりも減少している点は残念。保護者が読書を読むことが子どもの読書習慣を作るということをもっとしっかりと認知させる必要がある。 【古瀬委員 評価3】 1 指標①については、確かに目標値が高すぎるのかもしれない。一方で、実績値が低い理由として、読書に関心があってもなかなか自分の時間が持てない中で、「読書冊数が関係ある」ことがどのように受け止められるのか、検討の余地がある。 2 読書活動推進計画の中で、「子どもの発達に応じた適切な本を選ぶのが難しい」との記載がある。そのため、保護者への取組みが重要になってくるが、「プレママプレパパのための啓発事業」が実施できなかったことは残念である。			3.2

評価コメント記入シート

【足立区読書活動推進計画（令和6年度実施事業分）】

施策の柱	1	子どもの読書習慣につながる機会の充実	全体評価
施策名	1-3	子どもや保護者に読書の楽しさや大切さを伝える啓発活動と情報発信	3
5（2）「今後の方向性」への評価			方向性
【川村委員 評価4】 1 普段読書をしない生徒・児童に対する本に親しむきっかけづくりは重要であるため、今後の成果に期待する。 2 「子ども一日図書館員」など、実際に体験することで図書館や本を身近に感じてもらう取り組みの強化にも期待する。 【高祖委員 評価3】 事業番号2「プレママプレパパのための啓発事業」について、産前講座などでぜひ積極的に実施して欲しい。 事業番号4「各保健センターでの絵本の読み語り」はコロナ前同様にぜひ実施して欲しい。全体的にもっとイベントの工夫や周知の工夫をもっとすべきではないか。 【田口委員 評価4】 R7年度は、「プレママプレパパ」のための啓発事業により注力してはどうだろうか。お腹の中にいる子に絵本を読むということ、妊娠中から家庭での「ことばの育み」について知り学ぶ機会となります。冊子の作成も必要だが、並行してブックスタートのようなスキームで、「母子手帳と共に絵本を手渡す」マタニティブック事業などを新規で立ち上げてみてはいかがだろうか。ご検討いただき、ぜひ相談させていただきたいです。 【中野委員 評価3】 （短期） 現状実施しているようなおはなし会などは継続して続けていってほしい。ただ、時間を2部制にする（午前だけではなく、午後もやる／曜日を変えて開催する）など参加者数をみながら日時も調整してほしい（定期的に参加された方にアンケートをとってもいいのではないのでしょうか）。 （長期） イベントやチラシといったものだと、参加したり、取りにいかないといけない能動的なもの。インターネットを通した情報提供、区民が受動的に受け取れる体制をぜひ築いてほしい。 【古瀬委員 評価4】 1 子どもへのアプローチとして、「子ども一日図書館員の実施」や「中学生体験学習の受入れ」などは、子どもたちがワクワクしながら参加出来る事業展開にしてもらいたい。 2 読書週間事業は、親子で読書の楽しさを実感できるきっかけになるので、参加しやすい身近な事業で有効に活用されたい。 3 乳幼児から大人にいたるライフステージごとに、どんな絵本や本を選べばいいのか、簡単にわかる情報発信ツールがあると、読書がより身近になるのではないか。			3.6

評価コメント記入シート

【足立区読書活動推進計画（令和6年度実施事業分）】

施策の柱	1	子どもの読書習慣につながる機会の充実	全体評価
施策名	1-4	本に親しみ、学ぶための学校図書館の充実と活用	4
5（１）「現在の達成状況」への評価			達成度
【川村委員 評価5】 1 小学生一人当たりの本の年間貸出冊数は増加しており、目標値を大きく上回っている。大いに評価する。 2 中学生の学校図書館の利用割合についても、目標には到達していないものの、コロナ禍後回復傾向にあるため評価したい。 【高祖委員 評価4】 派遣事業の定着を評価する。 【田口委員 評価5】 学校図書館整の整備、利活用については概ね目標値を達成しており、関係者の皆さんの活動が子どもたちの読書環境づくりに繋がっていると思う。 【中野委員 評価4】 1 小学生1人あたりの本の年間貸出数、および中学生の学校図書館の利用割合が増えていることは評価できる。 2 学校図書館支援員の配置日数を拡充したことにより、学校図書館の活用方法が学校の先生方に伝えられていることは評価できる。今後もぜひ続けていってほしい。 【古瀬委員 評価4】 1 指標①②とも、学校図書館を支えるマンパワーを充実し、学校図書館の環境整備を強化していることが、数値として反映されており、評価できる。 2 スーパーバイザーや「学校巡回司書」が持っているノウハウを、学校全体や保護者にも情報共有していくことが学校図書館の活用には肝要ではないか。 3 新規の調べ学習用図書資料配送サービス事業は、図書館との連携事業であり、児童生徒の調べ学習支援に大きく寄与する。			4.4

評価コメント記入シート

【足立区読書活動推進計画（令和6年度実施事業分）】

施策の柱	1	子どもの読書習慣につながる機会の充実	全体評価
施策名	1-4	本に親しみ、学ぶための学校図書館の充実と活用	4
5（2）「今後の方向性」への評価			方向性
【川村委員 評価4】 1 学校図書館の活用推進策についても、具体的な案が示されており評価する。 2 読書としても機能も当然のことながら、「学校の中でお気に入りの場所」や「落ち着ける場所」などと思ってもらえるような、心の拠り所としての機能も高めて欲しい。それが結果的に学びにも繋がると考える。 【高祖委員 評価4】 子どもたちの意見も聞き図書館運営に活かしてはどうか。スーパーバイザーや学校巡回司書の派遣も必要であるが、学校ごとに特色のある図書館作りを進めるのもいいのではないかな。 【田口委員 評価5】 1-1「学校図書館の図書資料の充実と整備」に関しては、学校図書館図書標準という数の基準での指標であり、H5に策定された古い基準であることから現状に即していない可能性がある。そのため、蔵書データを廃棄基準と突合し、質の向上を目指す基準を設定してはいかがだろうか。R7年度は、廃棄を推奨する取組を検討されていることから、数ではなく質を重視した図書資料の整備をしていただきたい。 【中野委員 評価4】 （短期的） 引き続き、学校図書館の活用推進を図ってほしい。 （長期的） 人工AIの登場、および普及によって、学校図書館の資料をどのように学習活動に生かせるのかについては再考が必要だと思う。AIとの違い、良さを明確にして児童に伝えていく必要があると思う。 【古瀬委員 評価4】 1 短期の取組みは、「学校図書館支援のアクションプラン」に基づき、具体的にきめ細かく事業展開されるので、大いに評価できる。 2 中長期の取組みとして、すべての学校図書館を親子で利用ができたり、地域に開放することで、さらなる活用が図られるのではないかな。 3 あだち読書手帳が学校図書館でも利用できると、児童生徒の読書への意欲や関心が高まるのではないかな。			4.2

評価コメント記入シート

【足立区読書活動推進計画（令和6年度実施事業分）】

施策の柱	2	区民の読書に対する関心を高め支える環境の充実	全体評価
施策名	2-1	区立図書館資料の充実と活用	

4

5（1）「現在の達成状況」への評価	達成度
-------------------	-----

【川村委員 評価4】

- 1 区民一人当たりの図書資料貸出数が減少していることは残念だが、SNSの普及を考慮すると、致し方ないのではないかと考える。
- 2 「あだち電子図書館」での貸出冊数も、小中学生向けの体験キャンペーンの影響を考慮すると増加しているとのことなので、達成状況については、悲観することなく次に繋げて欲しいと考える。

【高祖委員 評価2】

区民1人当たりの貸出冊数が減っているのは残念な結果だが、今後は電子書籍の貸し出しも合わせた評価にすべきではないか。

【田口委員 評価5】

各施策が達成率に繋がっている。

【中野委員 評価4】

- 1 展示コーナーの本の貸出率が上がっていることは評価できる。常に季節に応じて楽しい企画をしてくださっているおかげだと思う。
- 2 区民一人当たりの図書資料貸出数、および電子書籍の貸出回数についてはR5と比較して減少している点は残念。

【古瀬委員 評価3】

- 1 指標①については、区民の関心が多様化している中で、健闘していると評価できる。分析は難しいのかもしれないが、世代や地域ごとに推移の変化が分析できるとよい。
- 2 指標②の展示コーナー(特集棚)については、図書館の魅力を前面に出せる魅力的な施策である。庁内と連携した特集を全館で実施したことは、大いに評価できる。
- 3 指標③の電子書籍については、図書館に来館しなくても絵本に親しむことができるようになり、一定の評価はできるが、紙の持つ絵本の魅力につなげてほしい。

3.6

評価コメント記入シート

【足立区読書活動推進計画（令和6年度実施事業分）】

施策の柱	2	区民の読書に対する関心を高め支える環境の充実	全体評価
施策名	2-1	区立図書館資料の充実と活用	

4

5（2）「今後の方向性」への評価

方向性

【川村委員 評価4】

近年、夏の暑さが厳しく、出歩く頻度も減り、重い本を借りて自宅へ持って帰るのが大変だと感じている人も増えているのではないかと思います。特に高齢者などスマートフォンやタブレットの操作が苦手な方のために、「あだち電子図書館」の利用方法の講習会などを実施するなど、この暑さを活用した利用促進策も検討いただきたい。

【高祖委員 評価3】

時代の流れからして電子書籍の活用について区民に向けたPRをもっとすべきではないか。足立区からのメール（Aメール）を活用したり、SNSで呼びかけなど強化するといったのではないか。

【田口委員 評価5】

庁内との連携強化による特集展示の強化はより積極的に実施してほしい。また、聴く読書は今後需要が増えることから、オーディオブックの導入についても積極的に導入に向けた検討をしていただきたい。

【中野委員 評価3】

（短期的）

- 1 展示コーナーについては継続して行ってほしい。
- 2 電子書籍については、なじみのない方も多、かつメリットデメリットあると思うので、講座を実施してみてもよいと思います（特に子どもについては、電子媒体を控えさせる親も多いと思いますので、図書館としての捉え方を伝えてほしい）。

（長期的）

「様々な余暇活動がある中、どのように本に親しみを持ってもらうか」これはとても重要なテーマだと思います。より深い議論をすべきだと思う。

【古瀬委員 評価3】

- 1 短期的な児童生徒への取組みに対しては、具体で評価できる。一方、大人に対する取組みが不十分である。来館者が本を借りたくなるようなしなかけ、例えば、オーダーメイドで本を選書してくれるサービスや、あらかじめテーマごとにお薦め本がまとめてあったりすると面白い。さらに、大人向けの読書手帳があったら、一目で分かる記録になりうれしい区民も多いはず。久しぶりに図書館を利用した人たちが再び足を運びたくするアプローチも必要である。
- 2 電子書籍については、メインターゲットの見直しも含めて検討することは大いに賛成である。使い勝手の良い電子書籍はシニア層を含めた大人世代にこそニーズがあるのではないか。

3.6

評価コメント記入シート

【足立区読書活動推進計画（令和6年度実施事業分）】

施策の柱	2	区民の読書に対する関心を高め支える環境の充実	全体評価
施策名	2-2	障がいや言語などにかかわらず読書に親しめる図書資料などの整備	4
5（１）「現在の達成状況」への評価			達成度
【川村委員 評価3】 障がい者向け図書資料宅配サービスの貸出冊数は目標を大幅に上回り、評価する。 【高祖委員 評価3】 ユニバーサルデザインの館内整理を進めていることは評価できる。 【田口委員 評価5】 障がいや言語などにかかわらず読書に親しめる環境整備は、公共図書館にとっては重要な施策であり、関係機関と連携し、主体的に潜在利用者への周知をしていただきたい。 【中野委員 評価3】 1 指標①の貸出冊数がR8の目標に達していることは評価できるが、R5と比べて減少していることは残念（貸出ルール変更がどこまで起因しているかは再度ご説明いただきたい）。 2 指標②についてもR5と比べて減少していることは残念。 【古瀬委員 評価3】 1 指標①の目標値が達成したことは、事業のPRの成果であり、評価できる。 2 指標②の大活字本や外国語図書などが図書館にあることを知らない対象者もいるので、関係部署と連携しながら周知拡大に努めてほしい。			3.4

評価コメント記入シート

【足立区読書活動推進計画（令和6年度実施事業分）】

施策の柱	2	区民の読書に対する関心を高め支える環境の充実	全体評価
施策名	2-2	障がいや言語などにかかわらず読書に親しめる図書資料などの整備	4
5（2）「今後の方向性」への評価			方向性
【川村委員 評価4】 当事者の意見を伺う機会を設けることは非常に重要であるとする。時代の流れとともに、当事者の方々が求める内容も変化すると考えられるため、一人ひとりの意見を大切に、丁寧に進めていただきたい。 【高祖委員 評価3】 障がい者向けの図書館資料宅配サービスはいい取り組みなので、さらに進めて欲しい。障がい者の意見も聞きながら、より使いやすいサービスを進めて欲しい。 増加している外国由来の人が読書を楽しめる工夫も進めて欲しい。 【田口委員 評価5】 外国語図書資料の充実については、日本語図書資料の年間購入数が活動指標となっているが、日本語の識字率向上や異文化交流等に重きを置き、本を通じて外国人との相互理解を深めるようなイベントやWSを推進するなどの施策を進めていただきたい。 【中野委員 評価3】 （短期的） 1 図書資料宅配サービス自体が利用者にとってどういう評価をなされているか検証してみてもどうか？とても良いサービスだと思うので、より使いやすくなるとよいと思う。また、認知度なども把握してみてもどうか。 2 大活字本、外国語図書などの貸出冊数についても上記1と同様に、実際に使っている方の声を聞いて、よりよい形に変更できたらいいと思う。 【古瀬委員 評価3】 1 短期の取組みについては、アクションプランに基づいており、評価できる。 2 障がい児を抱えている保護者から「図書館は静かなので、騒いでしまう子どもをなかなか連れて行けない」との声を聴く。ぜひ、当事者の意見を取り入れながら、今後求められる図書館のあり方についても検討してほしい。 3 大活字本などは、病院の待合スペースなどに置いて、高齢者に手に取ってもらう機会を増やしたいかがか。			3.6

評価コメント記入シート

【足立区読書活動推進計画（令和6年度実施事業分）】

施策の柱	2	区民の読書に対する関心を高め支える環境の充実	全体評価
施策名	2-3	区立図書館などの空間、サービス、情報発信の充実	

4

5（1）「現在の達成状況」への評価	達成度
-------------------	-----

【川村委員 評価3】

- 1 人口に占める登録者数についても、外国人人口の増加を考慮すると、当然の流れなのではないかと考える。国籍や言語を問わず楽しんでもいただける図書館づくりが重要になるため、今後に期待したい。
- 2 「わくわく にこにこ 図書の森」について、利用者や貸出冊数が増加しており、評価できる。

【高祖委員 評価3】

ホームページに区や時事に関するテーマを掲載するなどの工夫は評価できる。ICタグにより複合施設内での資料持ち出しになったことはよかった。大学図書館との連携や商業施設のブックポストなどの取り組みは評価できる。

【田口委員 評価5】

各施策が達成率に繋がっている。

【中野委員 評価3】

指標③～⑤いすれについてもR8までの目標に達しておらず、かつR5よりも減少していて残念。

【古瀬委員 評価3】

- 1 5つの成果指標は、区立図書館を運営していくうえで、肝となる数値と言える。図書館の登録者の分析(年齢や地域、居住年数など)も行えば、どこに課題があるのか見えてくるのではないかと。
- 2 「まず図書館に来てもらう」ことを目指した取組みは評価できる。だれもが居場所として快適に楽しめる空間だということを実感してもらえるアプローチを、あらゆる世代に向けて取り組んでほしい。

3.4

評価コメント記入シート

【足立区読書活動推進計画（令和6年度実施事業分）】

施策の柱	2	区民の読書に対する関心を高め支える環境の充実	全体評価
施策名	2-3	区立図書館などの空間、サービス、情報発信の充実	4

5（2）「今後の方向性」への評価	方向性
------------------	-----

【川村委員 評価4】

中央図書館のリニューアルについて期待したい。また、旧子ども家庭支援センター跡地活用事業における「本と触れ合うことのできる場」の充実についても期待している。

【高祖委員 評価4】

区や時事に関するテーマにからめた掲載などはSNSを利用するなど、区民により届きやすい方法を検討して欲しい。

【田口委員 評価5】

レファレンスは、生成AIなどのツールの進化が進むことで役割が急激に変わっていくことが予想される。それに対する準備を急ぐ必要がある。SNSの発信が目標に達していないが、来館者数は増加していることから、SNSの役割そのものを再度見直す必要があるのではないか。

【中野委員 評価4】

本を読まない人も読む人も気軽に集まれる場所として、図書館の環境を整備されるという点はとても評価できる。まずは足を運んでももらわないと貸出冊数を伸ばしたり、本に親しみを持ってもらうこともできないと思うので、ぜひ進めていってほしい。図書館が新たな居場所、となるのであれば、より図書館が親しみやすい場所になれるといいと思う。司書の方も利用者さんの顔や名前を覚えたり、コミュニケーションが双方向で多少取れるといいなと思う。

【古瀬委員 評価4】

- 1 短期の取組みである魅力ある棚づくりの一環として、棚ごとに分かりやすいテーマをつけた
り、書店で見かける手書きのお勧めPOPをつけたりしてはいかがか。
- 2 従来の「堅い、暗い、古い、静か」という図書館のイメージを覆すような空間づくりをしてほ
しい。図書館は公共施設の中で、区民にとって一番魅力的なサードプレイスになり得る。中央図
書館のリニューアルに向けての取組み姿勢は、大いに期待が持てる。毎日でも行きたくなる、ワ
クワクドキドキする図書館を目指してほしい。

4.2

評価コメント記入シート

【足立区読書活動推進計画（令和6年度実施事業分）】

施策の柱	3	読書活動を通じた人と人とのつながりの形成	全体評価
施策名	3-1	読書活動にかかわる人材の育成と団体の支援	4

5（1）「現在の達成状況」への評価	達成度
-------------------	-----

【川村委員 評価4】

- 1 読書推進活動に携わりたいと回答した方の割合は、目標には届かなかったものの高い水準であり、アンケートにも前向きな意見があったとのことであるため、評価したい。
- 2 図書資料の団体貸出冊数は目標値を上回っており、制度の周知が十分に行き届いていたと考えられる。子どもたちの読書への関心を高めることに繋がったと考えられるため、これについても評価したい。

【高祖委員 評価4】

読み語り講座の参加者が増えており、区民の関心が高まっていることは評価できる。

【田口委員 評価5】

各施策が達成率に繋がっている。

【中野委員 評価4】

指標①、②ともにR5よりも増加しており、指標②についてはR8の目標も達成していることは評価できる。

【古瀬委員 評価4】

- 1 読書活動にかかわる人材の育成と団体の支援では、多岐にわたる事業展開をしており、すべて「A」を達成していることは、大いに評価できる。
- 2 特に、新規の学校図書館ボランティア養成・スキルアップ講座等の実施は、十分に発展性がある。1-2に掲載のおはなし会が未実施の児童館などにボランティア人材を派遣することも効果的である。様々なニーズのある読書環境を多くの人材が支える仕組みづくりは、重要である。

4.2

評価コメント記入シート

【足立区読書活動推進計画（令和6年度実施事業分）】

施策の柱	3	読書活動を通じた人と人とのつながりの形成	全体評価
施策名	3-1	読書活動にかかわる人材の育成と団体の支援	4
5（２）「今後の方向性」への評価			方向性
【川村委員 評価3】 幅広く講座の参加者を募る取り組みについて、SNSやホームページも当然のことながら、PTAやあやセンターぐるぐるなど、地域活動への参加が積極的である団体やコミュニティへのアプローチも進めていただきたい。 【高祖委員 評価3】 講座の内容については、子どもの権利、こどもまんなかなどの国の理念も重視した内容にブラッシュアップして欲しい。例年踏襲ではなく、時節にあった内容も取り入れての人材育成を期待する。 【田口委員 評価5】 より多くの方に参加いただけるよう、周知活動に力を入れていただきたい。 【中野委員 評価4】 （短期的） 読み聞かせの講座やボランティアの講座、など引き続き続けてほしい。また活動の場所も積極的に紹介したり、提供してほしい。 【古瀬委員 評価4】 1 短期、中長期とも取組みの方向性及び内容は評価できる。保育や教育機関に携わる人を対象とした研修に加えて、多忙な教員や保育士を補完する意味でもボランティアとの連携事業が求められている。 2 ボランティア人材や団体の活躍の場を区がコーディネートしていく役割も大きな意義がある。			3.8

評価コメント記入シート

【足立区読書活動推進計画（令和6年度実施事業分）】

施策の柱	3	読書活動を通じた人と人とのつながりの形成	全体評価
施策名	3-2	読書活動推進のための多様な連携と協創の推進	4

5（1）「現在の達成状況」への評価	達成度
-------------------	-----

【川村委員 評価4】

割合は低くないものの、目標達成には至らない状況が続いている。これまでの取り組みも継続しつつ、新たな取り組みにも期待したい。

【高祖委員 評価4】

文化芸術やスポーツを読書につなげる取り組みはとてもいいと思う。

【田口委員 評価5】

各施策が達成率に繋がっている。

【中野委員 評価3】

- 1 指標①についてR5よりも0.1%減少しており、かつR8の目標にも達成していないことは残念。
- 2 アウトリーチ事業についてはR5よりも多くなっている点は評価できる。

【古瀬委員 評価4】

- 1 区内15カ所の拠点で文化芸術やスポーツをきっかけに読書につなげるプログラムを実施したことは、評価できる。3分野連携の取組みは、異なる分野への関心を高めることにつながり発展性が期待できる。
- 2 3つの対応事業も、新規事業を含め「A」を達成していることは、評価できる。とりわけ、アウトリーチ事業においては、初めての実施では場所の選定や手法などに時間を要することも想定され、他部署や民間事業者の理解と協力が欠かせない。

4.0

評価コメント記入シート

【足立区読書活動推進計画（令和6年度実施事業分）】

施策の柱	3	読書活動を通じた人と人とのつながりの形成	全体評価
施策名	3-2	読書活動推進のための多様な連携と協創の推進	4

5（2）「今後の方向性」への評価	方向性
------------------	-----

【川村委員 評価5】

まちなかで本と触れ合える仕組みについては、共働き世帯が増え、時間がないという人も多くいる現代において、非常に重要な視点であると考えます。是非成功させていただきたい。

【高祖委員 評価3】

ドラマや流行に合わせて読書会を企画するなど、参加意欲をかきたてるような取り組みもして欲しい。高齢者が参加しやすい企画も期待する。

【田口委員 評価5】

図書館にこない人・来れない人を対象としたアウトリーチ事業は、もっと積極的な実施を進めていただきたい。普段読まない、本に興味がない人が集まる場所での本との接点づくりが大切であると考えます。

【中野委員 評価3】

<長期的>

アウトリーチ事業やイベントなどを増やしていくことはある程度まではできても限界があると思う。色んな事業と連携することで、最小の工数で最大の効果が出せると思いますので、引き続き、効率の良い連携方法を模索していただきたい。そういう意味では、ご存知の通り子どもの集まる保育園、幼稚園、小学校などとの連携は一番効率よく多くの方に行き届くと思うのでそこに注力いただきたい。

【古瀬委員 評価4】

- 1 短期の取組みとして、まちなかで本と触れ合える仕組みを検討していくことは評価できる。例えば、病院やスポーツジム、銀行などの一角に関連した本を置き、図書館サービスと結びつける余地はあると考える。
- 2 中長期の取組みも評価する。地域のさまざまな場所で読書ができる環境を整備することで、本が身近にあり、本が人と人をつなぎ、「楽しさと出会えるまち」を大いに期待する。

4.0

【様式】読書活動推進計画 施策評価シート（令和6年度実施事業分）

施策の柱	1	子どもの読書習慣につながる機会の充実
施策名	1-1	乳幼児が本に親しむ機会の充実
担当部・課	地域のちから推進部 中央図書館	
担当部：1～3、6を記入	庁内検討委員会：4を記入	推進委員会：5を記入

1 施策の方向性

乳幼児期に本に親しむことは言葉を覚えるだけでなく、将来の読書習慣の基礎となる。加えて、本を通じて親子がふれあうことで、子どもの愛着形成等にもつながる。
区立図書館や保育園等で、乳幼児が本に親しむ取り組みを行うとともに、子育て支援事業や乳幼児健診の機会を捉え、乳幼児が本に触れる機会を作っていく。

2 成果指標

※R8は目標値

指標名①	親子で一緒に本を読んでいる割合（3歳児）							
指標の定義	3歳児健診時に実施するあだちはじめてえほんアンケートで、「親子で一緒に本を読んでいる」と回答した方の割合							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	86.9%	実績値	86.9%	91.5%	89.7%	91.5%	89.2%	97.0%
目標値（R8）	97.0%	達成率	89.6%	94.3%	92.5%	94.3%	92.0%	

指標名②	親子で一緒に本を読んでいる割合（4・5歳児）							
指標の定義	4～5歳児を対象とした、生活・ベジタベアンケートで、「親子で絵本を読む」と回答した方の割合							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	75.5%	実績値	75.5%	77.1%	79.6%	80.0%	77.5%	80.0%
目標値（R8）	80.0%	達成率	94.4%	96.4%	99.5%	100.0%	96.9%	

指標名③	1か月間に本を読んだ就学前児童の割合							
指標の定義	4～5歳児を対象とした、生活・ベジタベアンケートで、「本を一人で見たり読んだりする」と回答した方の割合							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	83.9%	実績値	83.9%	77.2%	77.6%	74.8%	73.4%	88.0%
目標値（R8）	88.0%	達成率	95.3%	87.7%	88.2%	85.0%	83.4%	

施策の手段として位置づける対応事業の達成度分布

進捗度	A	B	C	D	E	×	合計
事業数	9	0	0	0	0	0	9
%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%

3 担当部における評価

＜現在の達成状況＞R8目標値に対する達成状況、要因分析、その他実績等

【達成状況】

指標①実績値（91.5%→89.2%）はR5年度を下回り、R8年度の目標値（97.0%）を下回った。
指標②実績値（80.0%→77.5%）はR5年度を下回り、R8年度の目標値（80.0%）も下回った。
指標③実績値（74.8%→73.4%）はR5年度を下回り、R8年度の目標値（88.0%）も下回った。

【要因分析】

- 指標①②については、図書館館内でのおはなし会やアウトリーチ事業によって気軽に絵本を楽しめる環境を提供しているが、乳幼児期に本に親しむ大切さをさらにPRしていくことが重要であると考えられる。
- 指標②については、各保育・教育施設での読み語りや食育月間に合わせた図書館での啓発品の配付と併せた特集本の展示、年齢に合わせた本の紹介等をさらに推進していくことが重要であると考えられる。

【その他実績等】

- 「あだちはじめてえほん」事業（3～4か月児）において、健診対象者約4,000人に絵本の配付とあわせて仮登録した貸出カードを配付し、図書館への来館につなげた（216人が図書館で本登録）。
- 妊娠期・子育て期から保護者が本に親しみ、子どもの読書活動にも関心をもってもらう機会として、プレママ・プレパパ向けの読み語りイベントをR6年度に初めて実施した。

＜今後の方向性＞現在の達成状況を踏まえた今後の方向性等

【短期の取り組み】

- 親子で本に親しめる環境を提供するため、アウトリーチ事業のほか、各図書館や保育園、子育てサロン等におけるおはなし会を継続して実施していく。
- 「あだちはじめてえほん」事業について、1歳6か月児の絵本引換率の向上を図るため、引換率の低い保健センター2か所（中央本町、東部）での出張配付を継続していきながら、引き続き引換率の向上を図っていく。

【中長期の取り組み】

- 親子で一緒に読書への関心を高めていくための事業として、妊娠期・子育て期から保護者が本に親しみを持ってもらえる機会の提供をイベント等を通じて今後も継続して行っていく。
- 「あだちはじめてえほん」事業については、事業開始から10年が経過したことを踏まえ、絵本のテーマ等に留意しながら、配付絵本の一部入替についても検討していく。

＜助言の反映状況＞助言の反映有無、その理由

令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。
令和7年度に、外部評価を実施し、令和8年度に、令和7年度実施事業分として、評価の反映状況を記載します。

4 庁内検討委員会による評価（2次評価）

全体評価	達成度	方向性	反映状況
4	4	4	—

(1) 「現在の達成状況」への評価

ア 指標①②の実績値が僅かであるが減に転じたことは残念である。保護者が本に親しみ、子どもの読書活動にも関心を持ってもらう機会の提供を、妊娠期・子育て期から積極的に実施して欲しい。

イ 計画改定に伴い新たに盛り込んだプレママ・プレパパ向けの読み語りイベントを、R7年2月に早速実施したことは評価に値する。引き続き内容の充実を図るとともに、まだ子どもの読書への関心が

(2) 「今後の方向性」への評価

ア 長年低迷していた「あだちはじめてえほん事業」の1歳6か月の引換率が、出張配付の実施によって大幅に向上したことは評価できる。R7年度からは、すこやかプラザの開設により江北での引換率が向上することが見込まれるため、引き続き状況を注視しながら引換率の向上を図ってほしい。

(3) 「助言の反映状況」への評価

令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。
令和7年度に、外部評価を実施し、令和8年度に、令和7年度実施事業分として、評価の反映状況への評価を記載します。

5 推進委員会による評価（令和7年●月記載）

全体評価	達成度	方向性	反映状況
4	4	4	—

(1) 「現在の達成状況」への評価

ア 指標①②がともに減少し、目標値を下回ったことは残念。

イ これまで議論されてきた事業の周知について、昨年度よりも各事業で対策が立てられている。更なる周知や事業拡大に期待する。

ウ 新規でプレママ・プレパパ向けの読み語りイベントを実施したことは評価できる。

エ 様々なアウトリーチ事業は概ね目標を達成しており評価できるが、保護者の読書の関心や読み語りにはつながっていない面が見受けられる。

オ 幼稚園、保育園、こども図文庫の貸出の推進は、積極的に推進してほしい。

(2) 「今後の方向性」への評価

ア 現状の施策を継続しつつ、スモールアクションでよいのでより良くしてほしい。各園での貸出コーナーの整備や、あだちはじめてえほん配付時のブックリストの充実期待する。

イ 「出産前・乳児期からの読み読みの推進」はとても重要。母子手帳発行時や産前講座での促進、子育て家庭訪問事業との連携など、今後の展開に期待したい。

ウ あだちはじめてえほんの見直しをし、配布する絵本が保護者にとって魅力的である必要がある。

エ 外に出てこない親や子どもにどう伝えていくかがより重要であるため、区民が受動的に受け取れる情報発信方法を検討してほしい。

オ 区の他部署や保育園、幼稚園との連携、民間機関とのコラボレーションを進めてほしい。

カ 「親子で一緒」だけでなく、特に「親に向けた」施策を計画してはどうか。

(3) 「助言の反映状況」への評価

令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。

6 推進委員会評価に対する区の考え方（項番等は「5 推進委員会による評価」に合わせて記載）（令和7年●月記載）

【様式】読書活動推進計画 施策評価シート（令和6年度実施事業分）

施策の柱	1	子どもの読書習慣につながる機会の充実
施策名	1-2	子どもの読書習慣が身に付く活動の推進
担当部・課	地域のちから推進部 中央図書館	
担当部：1～3、6を記入	庁内検討委員会：4を記入	推進委員会：5を記入

1 施策の方向性

子どもの頃からの読書経験は習慣として将来に引き継がれる。幼児期から言葉の発達や関心の広がりに応じて読書を楽しむことで、読書習慣を身につける機会を作っていく。
そのために区立図書館や幼稚園、保育園、こども園、小中学校、児童館などの子育て施設で、おはなし会や朝読などの読書活動を推進する。また、図書館の利用を通じて将来にわたる読書機会の提供に努める。

2 成果指標

※R8は目標値

指標名①	1か月間に本を読まなかった児童の割合（小学5年生）【低減目標】							
指標の定義	1か月間に本を読まなかった小学校5年生の割合							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	23.7%	実績値	23.7%	24.2%	26.9%	29.7%	29.3%	23.0%
目標値（R8）	23.0%	達成率	103.0%	105.2%	117.0%	129.1%	127.4%	

指標名②	1か月間に本を読まなかった生徒の割合（中学2年生）【低減目標】							
指標の定義	1か月間に本を読まなかった中学校2年生の割合							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	39.5%	実績値	39.5%	38.7%	36.5%	40.4%	42.7%	39.0%
目標値（R8）	39.0%	達成率	101.3%	99.2%	93.6%	103.6%	109.5%	

指標名③	小学生に占める登録者割合							
指標の定義	（算出式） $A \div B$ A 小学生の学齢の区立図書館登録者数計 B 足立区の小学生の児童数							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	新規	実績値	-	45.8%	34.5%	38.9%	40.3%	50.0%
目標値（R8）	50.0%	達成率	-	91.6%	69.0%	77.8%	80.6%	

指標名④	中学生に占める登録者割合							
指標の定義	（算出式） $A \div B$ A 中学生の学齢の区立図書館登録者数計 B 足立区の中学生の生徒数							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	新規	実績値	-	80.9%	40.1%	46.9%	52.3%	85.0%
目標値（R8）	85.0%	達成率	-	95.2%	47.2%	55.2%	61.5%	

指標名⑤	児童書の貸出冊数							
指標の定義	区立図書館における、児童書の貸出冊数							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	1,187,936冊	実績値	1,187,936冊	1,227,774冊	1,103,971冊	1,027,950冊	946,148冊	1,280,000冊
目標値（R8）	1,280,000冊	達成率	92.8%	95.9%	86.2%	80.3%	73.9%	

施策の手段として位置づける対応事業の達成度分布

進捗度	A	B	C	D	E	×	合計
事業数	8	2	2	0	0	0	12
%	67%	17%	17%	0%	0%	0%	100%

3 担当部における評価

＜現在の達成状況＞R8目標値に対する達成状況、要因分析、その他実績等

【達成状況】

指標①実績値（29.7%→29.3%）はR5年度からほぼ横ばいで、R8年度の目標値（23.0%）に届かなかった。
指標②実績値（40.4%→42.7%）はR5年度から増となり、R8年度の目標値（39.0%）に届かなかった。
指標③実績値（38.9%→40.3%）はR5年度を上回ったが、R8年度の目標値（50.0%）は下回った。
指標④実績値（46.9%→52.3%）はR5年度を上回ったが、R8年度の目標値（85.0%）は下回った。
指標⑤実績値（1,027,950冊→946,148冊）はR5年度を下回り、R8年度の目標値（1,280,000冊）も下回った。
※ 指標①、②は低減目標。

【要因分析】

（1）指標⑤については、貸出数減少の要因として、閲覧席のみの利用が増加しているほか、余暇活動の多様化やインターネット（電子書籍を含む）の普及が影響していることが考えられる。なお、児童書だけではなく一般書も貸出数が減少し続けている。

【その他実績等】

（1）出張おはなし会（628回・12,778人→476回・13,159人）や読み語り講座（4回・105人→●回・105人参加）など、昨年度の参加人数を上回った。
（2）あだち読書通帳について、配布場所の拡大や司書教諭及び学校図書館支援員への周知の強化により、R5年度と比べて配付冊数が大幅に伸びた（親子用3,676冊、小学生用1,693冊の増）。

<今後の方向性>現在の達成状況を踏まえた今後の方向性等

【短期の取り組み】

- (1) アウトリーチ事業のほか、おはなし会や出張おはなし会等のイベントを積極的に実施し、本に触れる機会を増やし、子どもの読書習慣の定着を図っていく。
- (2) R7年途中から、あだち読書通帳に50冊分の本のタイトルを記録した子どもにペットボトルカバーのプレゼントを開始し、子どもたちのモチベーション向上と読書通帳のさらなる利用促進を図っていく。

【中長期の取り組み】

- (1) 図書館だけでなく、親子連れが多い商業施設でのアウトリーチ事業の実施や、保育園や児童館などの子育て施設や学校における年齢に応じた本の紹介やおはなし会を行い、読書習慣の定着へとつなげていく。

<助言の反映状況>助言の反映有無、その理由

令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。

令和7年度に、外部評価を実施し、令和8年度に、令和7年度実施事業分として、評価の反映状況を記載します。

	全体評価	達成度	方向性	反映状況
4 庁内検討委員会による評価（2次評価）	4	3	4	－

(1) 「現在の達成状況」への評価

ア 児童書の貸出冊数が3年連続で減少したことについては、残念な結果である。乳幼児期からの読書習慣の定着が重要であるため、減少の背景について分析を行い、改善を図ってほしい。

(2) 「今後の方向性」への評価

ア 子育て施設や学校と連携し、出張おはなし会を実施するなど、本に触れる機会を増やすことで、子どもにとって本が身近なものとなるきっかけとなり、評価できる。

イ おはなし会や映画会などを積極的に実施し、子どもたちが本に触れる機会が増え、指標の改善につながることを期待する。

(3) 「助言の反映状況」への評価

令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。

	全体評価	達成度	方向性	反映状況
5 推進委員会による評価（令和7年●月記載）	4	3	4	－

(1) 「現在の達成状況」への評価

ア 指標①②が前年度と比べて減少している点、指標③④が前年より伸び率が減少している点、指標⑤は減少が続き目標を大きく下回った点は、残念である。指標①②⑤については、目標値に届かなかった理由を施設ごとに振り返ってほしい。

イ 出張おはなし会については、小学校・児童館での実施が減っていることが残念。目標値が大きすぎたのではないかと感じる。実施回数を増やすためにはボランティアの育成が必要であると思われるので、その対策を検討してほしい。

ウ 児童館との連携には課題が見受けられる。おはなし会以外の施策を検討する必要がある。

エ あだち読書通帳の配布冊数が大幅に伸びた努力は評価できる。

(2) 「今後の方向性」への評価

ア 親の目が離れていく学生に対し、より積極的な働きかけを検討する必要がある。本に触れるだけでは読書習慣の定着を図ることは難しいため、例えばビブリオバトルや本を紹介するPOP作り等の参加型の事業や、「家読（うちどく）」の普及・啓発をしてはどうか。

イ 児童館ではイベントとしての面白さを、放課後子ども教室では子どもが興味を持つアプローチを工夫してほしい。

ウ 一方で、施策の中心が読書の楽しさに偏る傾向にあるため、「機能的読書」の周知・習得に関する施策も検討してほしい。

エ あだち読書通帳のプレゼントについては、インセンティブをつけても面白いと思う。

(3) 「助言の反映状況」への評価

令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。

6 推進委員会助言に対する区の考え方（項番等は「5 推進委員会による評価」に合わせて記載）（令和7年●月記載）

--

【様式】読書活動推進計画 施策評価シート（令和6年度実施事業分）

施策の柱	1	子どもの読書習慣につながる機会の充実
施策名	1ー3	子どもや保護者に読書の楽しさや大切さを伝える啓発活動と情報発信
担当部・課	地域のちから推進部 中央図書館	
担当部：1～3、6を記入	庁内検討委員会：4を記入	推進委員会：5を記入

1 施策の方向性

区立図書館や幼稚園等の施設で、子どもに読書の楽しさを伝えるとともに、保護者にも自らが本を楽しむことや読書に関心を持つことが子どもの読書習慣に影響することを伝えていく。また、親子で読書に親しめるよう、成長や発達段階に応じた本や子育て期に読める本の紹介を進めていく。さらには出産前の保護者への情報提供など、場や機会、インターネットの活用など多様なチャンネルを通じた取り組みを工夫し進めていく。

2 成果指標

※R8は目標値

指標名①	子どもの読書と保護者の読書の関連を知っている保護者の割合							
指標の定義	1歳6か月児及び3歳児健診に実施する、あだちはじめてえほんアンケートで「子どもの読書冊数が、母親など身近な大人の読書冊数と関係があることを知っている」方の割合							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	41.6%	実績値	41.6%	51.7%	52.0%	56.3%	54.1%	80.0%
目標値（R8）	80.0%	達成率	52.0%	64.6%	65.0%	70.4%	67.6%	

指標名②	親子で一緒に本を読んでいる割合 ※施策1-1の再掲							
指標の定義								
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）		実績値						
目標値（R8）		達成率						

指標名③	1か月間に本を読んだ就学前児童の割合 ※施策1-1の再掲							
指標の定義								
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）		実績値						
目標値（R8）		達成率						

施策の手段として位置づける対応事業の達成度分布

進捗度	A	B	C	D	E	×	合計
事業数	7	4	0	0	0	2	13
%	54%	31%	0%	0%	0%	15%	100%

3 担当部における評価

＜現在の達成状況＞R8目標値に対する達成状況、要因分析、その他実績等

【達成状況】

指標①実績値（56.3%→54.1%）はR5年度を下回り、R8年度の目標値（80.0%）は下回った。

【要因分析】

指標①については、「あだちはじめてえほん」におけるチラシでのPRや、学校だより等で読書の大切さを保護者に伝える取り組みを行っているものの、本に興味のない保護者へ向けたPRが十分でなかったと考えられる。

【その他実績等】

- 「あだちはじめてえほん」事業のアンケートで、「ほとんど本を読まない」保護者の割合は、令和5年度と比較し、ほぼ横ばいであった（3・4か月児：37.5%→40.5%、1歳6か月児：44.5%→41.9%、3歳児：40.7%→41.6%）。
- 紙面の見やすさ向上のため、R6年度から、小学生向け図書館情報紙「あつまれおもしろい本」のサイズをA4版からA3版に拡大した。

＜今後の方向性＞現在の達成状況を踏まえた今後の方向性等

【短期の取り組み】

- 乳幼児については、アウトリーチ事業をはじめ、親子で楽しめる本の紹介やおはなし会の実施等により親子で読書に親しめる機会を増やしていく。
- 小・中学生については、読みやすい本や手に取って読んでみたくなる本を「あつまれおもしろい本」「ティーンズスコープ」等で紹介し、普段読書をしない生徒・児童へ本に親しむきっかけづくりを行う。

【中長期の取り組み】

- 「身近な大人の読書冊数との関連性」を周知するチラシを作成し、イベントで配付するなど、本に興味のない保護者にも幅広く周知していく。
- 本に関する情報を得やすいよう、紙媒体での図書館情報誌の配付に加え、インターネットを活用した情報提供を検討をしていく。

＜助言の反映状況＞助言の反映有無、その理由

令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。
令和7年度に、外部評価を実施し、令和8年度に、令和7年度実施事業分として、評価の反映状況を記載します。

4 庁内検討委員会による評価（2次評価）

全体評価	達成度	方向性	反映状況
3	3	3	－

(1) 「現在の達成状況」への評価

- ア 指標①「身近な大人の読書冊数との関連性」の認知率が低下したのは残念な結果である。より効果的なPR方法を検討してほしい。
- イ 指標①については、R8目標値との乖離が大きく、目標達成は現実的に厳しいと思われる。現状を分の上、R9からの新計画の策定作業の中で目標設定の見直しを図ってほしい。

(2) 「今後の方向性」への評価

- ア アウトリーチ事業等におけるチラシ配付のほか、本に触れる機会の少ない保護者にも届くようなアプローチ方法の工夫に期待する。
- イ 子どもへの本の紹介にあたっては、読みやすい本、年齢や発達段階に応じた本などを紹介し、本に親しむきっかけづくりの充実を図ってほしい。

(3) 「助言の反映状況」への評価

令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。
令和7年度に、外部評価を実施し、令和8年度に、令和7年度実施事業分として、評価の反映状況への評価を記載します。

5 推進委員会による評価（令和7年●月記載）

全体評価	達成度	方向性	反映状況
3	3	3	－

(1) 「現在の達成状況」への評価

- ア 「各保健センターでの絵本の読み語り」「プレママ・プレパパのための啓発事業」の未実施は残念。「身近な大人の読書冊数との関係」についての認知は依然として低いままである。保護者が読書を読むことが子どもの読書習慣を作るということをもっとしっかりと認知させる必要がある。
- イ 区立図書館での親子おはなし会の参加者数や中学生体験学習の受入れ数、読書週間事業の参加者数は横ばい状態で目標値を下回っており残念である。

(2) 「今後の方向性」への評価

- ア 子どもへのアプローチとして、「子ども一日図書館員の実施」や「中学生体験学習の受入れ」などは、子どもたちがワクワクしながら参加出来る事業展開にしてみたい。実際に体験することで図書館や本を身近に感じてもらう取り組みの強化にも期待する。
- イ 「プレママ・プレパパのための啓発事業」については、積極的に実施してほしい。「母子手帳と共に絵本を手渡す」マタニティブック事業などを新規で立ち上げてみてはいかがだろうか。
- ウ 「各保健センターでの絵本の読み語り」はコロナ前同様にぜひ実施して欲しい。現状実施しているようなおはなし会などは継続して続けてほしいが、時間を2部制にするなど参加者数をみながら日時も調整してほしい。
- エ インターネットを活用した情報提供等、区民が受動的に情報を受け取れる体制もぜひ築いてほしい。乳幼児から大人にいたるライフステージごとに、どんな絵本や本を選べばいいのか、簡単にわかる情報発信ツールがあると、読書がより身近になるのではないかな。

(3) 「助言の反映状況」への評価

令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。

6 推進委員会評価に対する区の考え方（項番等は「5 推進委員会による評価」に合わせて記載）（令和7年●月記載）

【様式】読書活動推進計画 施策評価シート（令和6年度実施事業分）

施策の柱	1	子どもの読書習慣につながる機会の充実
施策名	1-4	本に親しみ、学ぶための学校図書館の充実と活用
担当部・課	地域のちから推進部 中央図書館	
担当部：1～3、6を記入	庁内検討委員会：4を記入	推進委員会：5を記入

1 施策の方向性

学校図書館は、読書活動や読書指導の場である「読書センター」としての機能、学習活動の支援や、授業の内容を豊かにしてその理解を深める「学習センター」としての機能、情報の収集・選択・活用能力を育成する「情報センター」としての機能を有する。

また、今後の学校図書館には、様々な場面での利活用を通じて、「主体的・対話的で、深い学びの実現」や「言語能力や情報活用能力、問題解決能力等の育成」を支える役割が期待される。

2 成果指標

※R8は目標値

指標名①	小学生一人当たりの本の年間貸出数							
指標の定義	学校図書館での小学生一人当たりの本の年間貸出数							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値 (H30)	30冊	実績値	30冊	41冊	45冊	47冊	48冊	36冊
目標値 (R8)	36冊	達成率	83.3%	112.8%	125.6%	129.7%	132.5%	

指標名②	中学生の学校図書館の利用割合							
指標の定義	1か月の間に学校図書館を利用している生徒の割合 (重複あり 延べ利用者数÷生徒数)							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値 (H30)	141.0%	実績値	141.0%	85.7%	112.2%	131.1%	137.9%	170.0%
目標値 (R8)	170.0%	達成率	82.9%	50.4%	66.0%	77.1%	81.1%	

指標名③								
指標の定義								
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値 (H30)		実績値						
目標値 (R8)		達成率						

施策の手段として位置づける対応事業の達成度分布

進捗度	A	B	C	D	E	×	合計
事業数	8	1	0	0	0	0	9
%	89%	11%	0%	0%	0%	0%	100%

3 担当部における評価

＜現在の達成状況＞R8目標値に対する達成状況、要因分析、その他実績等

【達成状況】

- 指標① 実績値はR5年度を上回り（47冊→48冊）、R8年度の目標値（36冊）も上回った。
 指標② 実績値はR5年度を上回った（131.1%→137.9%）が、R8年度の目標値（170.0%）は下回った。

【要因分析】

- (1) 指標①に関しては学校図書館支援員の配置日数拡充（2/3の学校を週2日から4日に変更）により、児童の学校図書館の利用機会が増えたことが要因と推察される。
 (2) 指標②に関しては、学校図書館スーパーバイザー等による巡回指導や学校司書への研修等の充実により、学校図書館の環境整備が進んだ効果が現れた結果と推察される。

【その他実績等】

- (1) 学校図書館スーパーバイザーの人員増により、校内研修や提案授業の実施回数を増やし、より具体的に学校図書館の活用策を学校教員に提示することができた。
 (2) 学校巡回司書の新設により、学校司書への支援を充実したほか、学校司書の地区別連絡会を実施し、好事例の共有や課題を相談できる機会を設けることで、さらなる専門性の向上を図った。

＜今後の方向性＞現在の達成状況を踏まえた今後の方向性等

【短期の取り組み】

- (1) 学校図書館支援のアクションプランを策定し、学校図書館の「学習センター機能」への支援に重点をおくことを明確に示した。各校へ周知し、学校図書館の活用推進を図る。また、巡回訪問や研修会・地区別連絡会の内容を充実させることで、学校司書のさらなる専門性向上を図る。
 (2) 小学校は図書館支援員は、令和7年度にはすべての小学校に週4日配置し、調べ学習等授業支援の機会増加による学習活動の充実や魅力ある図書資料の展示及び掲示、図書資料の整理に注力していく。
 (3) 学校図書館活用推進校（令和6年度小9校、中2校から、小12校、中3校に拡充）を中心に、学校図書館スーパーバイザーによる助言・支援を通じて、学習における学校図書館の活用を進め、好事例を積み上げ他校への展開を図っていく。あわせて、学校図書館を学習活動で利用しやすくするため、レイアウト変更や備品の更新、蔵書の充実を進めていく。

【中長期の取り組み】

- (1) 読書が好きな子どもたちを増やしていくために、学校図書館のさらなる環境整備や蔵書の充実に向けた取り組みを進めていく。
 (2) 児童・生徒が自ら学びを深め、言語能力や情報活用能力などの資質・能力の育成に繋げていくため、各小中学校において授業での積極的な学校図書館活用を促し、探究的な学習を推進していく。

＜助言の反映状況＞助言の反映有無、その理由

令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。
 令和7年度に、外部評価を実施し、令和8年度に、令和7年度実施事業分として、評価の反映状況を記載します。

4 庁内検討委員会による評価（2次評価）

全体評価	達成度	方向性	反映状況
4	4	4	－

(1) 「現在の達成状況」への評価

- ア 小学校については、貸出冊数を伸ばすことが出来ており、派遣事業の定着により支援員と教員が連携した学校図書館の活用が進んでいると評価できる。
- イ 中学校については、コロナ禍以前の水準まで利用が回復しつつあり、学校司書や図書担当教員への支援の取組みの成果が見て取れる。令和8年度の目標とはまだ開きがあるので、さらなる利用促進に向けて、教員や学校司書への支援・啓発を一層充実させていくことを期待する。

(2) 「今後の方向性」への評価

- ア 多くの児童・生徒が本に親しみ、読書好きの子どもたちを増やしていくために、読書活動及び学習活動の場面で利用しやすい魅力的な学校図書館の整備を進めてほしい。
- イ 学校図書館スーパーバイザーや学校巡回司書を効果的に活用し、学習の場面における学校図書館利活用を促進し、子どもたちの「調べて知る喜び」の体験から「主体的・対話的で深い学び」の実現に繋げてほしい。

(3) 「助言の反映状況」への評価

令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。
令和7年度に、外部評価を実施し、令和8年度に、令和7年度実施事業分として、評価の反映状況への評価を記載します。

5 推進委員会による評価（令和7年●月記載）

全体評価	達成度	方向性	反映状況
4	4	4	－

(1) 「現在の達成状況」への評価

- ア 学校図書館支援員の配置日数の拡充や派遣事業の定着等、学校図書館の整備・利活用が進められており、子どもたちの読書環境づくりにつながっていると思う。
- イ 指標①及びおよび指標②が伸びていることも評価したい。
- ウ スーパーバイザーや学校巡回司書が持っているノウハウを、学校全体や保護者にも情報共有していくことが、学校図書館の活用には肝要ではないか。
- エ 新規の調べ学習用図書資料配送サービス事業は、図書館との連携事業であり、児童生徒の調べ学習支援に大きく寄与する。

(2) 「今後の方向性」への評価

- ア 学校図書館の活用推進策については、「学校図書館支援のアクションプラン」に基づいた具体的な案が示されており評価できる。
- イ 子どもたちの意見を聞き、図書館運営に活かすのはどうか。学校ごとに特色のある図書館づくりを進めるのもいいのでは。「学校の中でお気に入りの場所」「落ち着ける場所」と思ってもらえるような心の拠り所としての機能も高めてほしい。
- ウ 「学校図書館の図書資料の充実と整備」に関しては、学校図書館図書標準という古い基準であることから時代に即していない可能性がある。そのため、蔵書データを廃棄基準と突合し、質の向上を目指す基準を設定してはいかがだろうか。また、AIの普及等により学校図書館の資料をどのように学習活動に活かせるかも再考する必要があると思う。

(3) 「助言の反映状況」への評価

令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。

6 推進委員会評価に対する区の考え方（項番等は「5 推進委員会による評価」に合わせて記載）（令和7年●月記載）

【様式】読書活動推進計画 施策評価シート（令和6年度実施事業分）

施策の柱	1	区民の読書に対する関心を高め支える環境の充実
施策名	2-1	区立図書館資料の充実と活用
担当部・課	地域のちから推進部 中央図書館	
担当部：1～3、6を記入	庁内検討委員会：4を記入	推進委員会：5を記入

1 施策の方向性

区民の多様な関心に応え、幅広い知識や考え方等に触れられるよう、区立図書館の資料を充実させる。子どもに向けては児童資料や調べ学習のための資料などの充実を図っていく。時事に合わせたテーマや地域課題の特集などを積極的に行い、区民の関心を高める工夫を行う。

2 成果指標

※R8は目標値

指標名①	区民一人当たりの図書資料貸出数							
指標の定義	(算出式) $A \div B$ A 図書資料貸出数 B 足立区の総人口							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値 (H30)	4.8冊	実績値	4.8冊	4.5冊	4.2冊	4.0冊	3.7冊	6.0冊
目標値 (R8)	6.0冊	達成率	80.0%	75.0%	70.0%	66.7%	61.7%	

指標名②	展示コーナー（特集棚）の本の貸出率							
指標の定義	時事に合わせた課題や地域課題を特集した、展示コーナーの本の貸出率							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値 (H30)	新規	実績値	-	145.0%	125.5%	134.4%	146.0%	150.0%
目標値 (R8)	150.0%	達成率	-	96.7%	83.7%	89.6%	97.3%	

指標名③	電子書籍（「あだち電子図書館」）の貸出回数							
指標の定義	電子書籍の年間貸出回数							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値 (H30)	-	実績値	-	13,680回	17,845回	28,390回	25,407回	45,000回
目標値 (R8)	45,000回	達成率	-	30.4%	39.7%	63.1%	56.5%	

施策の手段として位置づける対応事業の達成度分布

進捗度	A	B	C	D	E	×	合計
事業数	4	0	0	0	0	0	4
%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%

3 担当部における評価

＜現在の達成状況＞R8目標値に対する達成状況、要因分析、その他実績等

【達成状況】

指標①実績値（4.0冊→3.7冊）は前年度を下回り、R8年度の目標値（6.0冊）も下回った。
指標②実績値（134.4%→146.0%）は前年度を上回ったが、R8年度の目標値（150.0%）を下回った。
指標③実績値（28,390回→25,407回）は前年度を下回り、R8年度の目標値（45,000回）も下回った。

【要因分析】

- 指標③については、主な図書貸出数減少の要因として、閲覧席のみの利用が増加しているほか、余暇活動の多様化やインターネット（電子書籍を含む）の普及が影響していることが考えられる。
- 指標②については、庁内と連携した施策連携特集（年間20テーマ）を全館で実施し、関連本の展示に加え、啓発物品やパネル展示などを実施した。利用者にPRが効果的に伝わり、展示コーナーの本の貸出率の上昇につながったと考えられる（展示冊数45,485冊、貸出冊数64,604冊）。
- 指標③の減については、R4から5年度にかけて実施した小中学生向けのあだち電子図書館体験キャンペーンの効果により令和5年度の利用回数が一時的に大幅増となったことの影響によるものである（同キャンペーン分を除いた貸出回数で比較すると、R6年度は約25%伸びている（20,204回→25,047回））。

【その他実績等】

- 「あだち電子図書館」については、引き続き蔵書の拡大に努め（6,534タイトル→7,198タイトル）、図書館に来館しなくても絵本に親しむことができるサービスを提供した（令和6年度貸出25,407回）。

＜今後の方向性＞現在の達成状況を踏まえた今後の方向性等

【短期の取り組み】

- 電子書籍については引き続き蔵書の充実に努めるとともに、R7年6月から開始した学校授業における多人数視聴の利活用が進むよう、教員へのPRを図っていく。また、一時的なキャンペーンではなく、継続的に区立中学校全生徒および区立小学校5、6年生の全児童が電子図書館を利用できる仕組みを検討していく。
- 庁内関係所管との連携による「図書館×〇〇特集」について、あだち広報やホームページ、SNSの活用により積極的なPRを展開する。

【中長期の取り組み】

- 令和7年6月に策定した「図書館サービスデザインアクションプラン」に基づき、足立区に関連する資料の積極的な収集に加え、漫画や電子媒体など時代に合わせた資料の収集も意識して、図書館資料の収集方針や基準の見直しを進めていく。
- あだち電子図書館については、R8年度の目標所蔵数（8,000冊）を達成する見込みである。R9年度以降の収集方針について、メインターゲットの見直しも含めて検討していく。

＜助言の反映状況＞助言の反映有無、その理由

令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。
令和7年度に、外部評価を実施し、令和8年度に、令和7年度実施事業分として、評価の反映状況を記載します。

4 庁内検討委員会による評価（2次評価）

全体評価	達成度	方向性	反映状況
3	2	3	－

(1) 「現在の達成状況」への評価

- ア 「区民一人当たりの図書資料貸出数」が3年連続で減少していることは残念な結果である。子ども・子育て世代の貸出が減となった背景について、分析を継続して改善を図ってほしい。
- イ 関連本の展示に加え、啓発物品やパネル展示などを実施し、区民が本を手に取りやすくする方向性は評価できる。今後の継続的な取り組みを期待する。
- ウ 令和4年度と比較すると増加しており、一定の評価ができる。引き続き貸出しの増に努めてほしい。

(2) 「今後の方向性」への評価

- ア 利用者目線に立った展示コーナーの名称変更により、読書に関心がない人が本を手取るきっかけとなることが期待できる。いかに関心を引けるかがポイントとなるため、引き続き、テーマ設定や展示の見せ方に工夫を図ってほしい。
- イ 電子書籍については、学校における利用が促進されるような取り組みは評価できる。引き続き学校との連携を図ってほしい。小中学生の継続的な利用については、タブレットを活用するなど、DXの視点も取り入れた検討に期待する。
- ウ 図書館資料の収集方針や基準を適切に見直しを行うことで、次世代の足立区民に残す蔵書の構築に努めてほしい。

(3) 「助言の反映状況」への評価

令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。
令和7年度に、外部評価を実施し、令和8年度に、令和7年度実施事業分として、評価の反映状況への評価を記載します。

5 推進委員会による評価（令和7年●月記載）

全体評価	達成度	方向性	反映状況
4	4	4	－

(1) 「現在の達成状況」への評価

- ア 区民一人当たりの貸出冊数が減っていることは残念。難しいかもしれないが、世代や地域ごとに推移の変化が分析できるとよい。
- イ 展示コーナーの貸出率が上がっていることは評価できる。常に季節に応じて楽しい企画をしているおかげだと思う。図書館の魅力を前面に出せる魅力的な施策であり、庁内と連携した特集を全館で実施したことも評価できる。
- ウ 図書館に来館しなくてもえほんに親しむことができる電子書籍の拡大は一定の評価ができる。貸出冊数の評価基準に電子書籍の貸出数も合わせた評価としてはいかがか。

(2) 「今後の方向性」への評価

- ア 時代の流れからして電子書籍の活用について区民に向けたPRをもっとすべきではないか。操作が苦手な方のために利用方法の講習会を実施するなど、積極的に周知してほしい。
- イ 庁内との連携強化による特集展示の強化はより積極的に実施してほしい。
- ウ 短期的な児童生徒への取り組みについては具体的で評価できるが、大人に対する取り組みが不十分であると思う。オーダーメイドで本を選書してくれるサービスや、あらかじめテーマごとにお薦め本がまとめてあったりする企画、大人向けの読書通帳等、来館者が本を借りたくなるような仕掛けも検討してほしい。
- エ 「様々な余暇活動がある中、どのように本に親しみを持ってもらうか」というテーマはとても重要であるため、より深い議論をすべきだと思う。

(3) 「助言の反映状況」への評価

令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。

6 推進委員会評価に対する区の考え方（項番等は「5 推進委員会による評価」に合わせて記載）（令和7年●月記載）

【様式】読書活動推進計画 施策評価シート（令和6年度実施事業分）

施策の柱	2	区民の読書に対する関心を高め支える環境の充実
施策名	2-2	障がいや言語などにかかわらず読書に親しめる図書資料などの整備
担当部・課	地域のちから推進部 中央図書館	
担当部：1～3、6を記入	庁内検討委員会：4を記入	推進委員会：5を記入

1 施策の方向性

障がいのある方や高齢の方などの読書に対するニーズに対応して、資料整備やサービスの充実を図る。
外国語の本や大活字本などの充実とともに、障がいや高齢などの理由で区立図書館に足を運べない方を対象に、図書資料の宅配サービスを拡充する。
さらに電子書籍の導入・活用も検討し、図書館にアクセスしにくい人々も本に親しめる環境を目指す。

2 成果指標

※R8は目標値

指標名①	障がい者向け図書資料宅配サービスの貸出冊数							
指標の定義	図書資料宅配サービスによる、貸出冊数							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	76冊	実績値	76冊	367冊	418冊	979冊	789冊	500冊
目標値（R8）	500冊	達成率	15.2%	73.4%	83.6%	195.8%	157.8%	

指標名②	種別（大活字本、外国語図書など）の貸出冊数							
指標の定義	大活字本、外国語図書などの貸出冊数							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	22,443冊	実績値	22,443冊	22,241冊	22,685冊	21,597冊	21,058冊	29,000冊
目標値（R8）	29,000冊	達成率	77.4%	76.7%	78.2%	74.5%	72.6%	

指標名③								
指標の定義								
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）		実績値						
目標値（R8）		達成率						

施策の手段として位置づける対応事業の達成度分布

進捗度	A	B	C	D	E	×	合計
事業数	6	1	1	0	1	0	9
%	67%	11%	11%	0%	11%	0%	100%

3 担当部における評価

＜現在の達成状況＞R8目標値に対する達成状況、要因分析、その他実績等

【達成状況】

指標①実績値（979冊→789冊）はR5年度を下回ったものの、R8年度の目標値（500冊）は大きく上回った。

指標②実績値（21,597冊→21,058冊）はR5年度を下回り、R8年度の目標値（29,000冊）を下回った。

【要因分析】

（1）指標①については、貸出ルール変更により貸出冊数及び回数が減少したと思われる（311回・979冊→279回・789冊）。一方で利用者数についてはR5年度よりも伸びており（30人→33人）、高い水準を維持していることから、事業のPRの成果は一定程度表れている。

（2）指標②については、種類ごとに新たな資料を購入しているが、出版数が限られている資料もあり、大幅な貸出増にはつながっていない。

【その他実績】

中央図書館で実施した小・中学生対象の職場体験で、障がい者サービスや「りんごの棚」の紹介を行った。

＜今後の方向性＞現在の達成状況を踏まえた今後の方向性等

【短期の取り組み】

（1）「図書館サービスデザインアクションプラン」に基づき、障がいの種別に関わらず様々な場面で図書館を利用出来る環境を提供できるようサービスの見直しを図っていく。

（2）関連部署と連携し、団体等が参加する審議会や催しで図書資料宅配サービスのPRを行うと共に、障がい者団体等サービスを利用する当事者の意見を聴取し、サービスの改善を図る。

【中長期の取り組み】

（1）読書バリアフリー法を踏まえ、ICT活用による利用者のサービス向上を図るなど、障がい者サービスの充実を目指していく。

＜助言の反映状況＞助言の反映有無、その理由

令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。
令和7年度に、外部評価を実施し、令和8年度に、令和7年度実施事業分として、評価の反映状況を記載します。

4 庁内検討委員会による評価（２次評価）

全体評価	達成度	方向性	反映状況
3	3	3	－

(1) 「現在の達成状況」への評価

ア 障がい等を理由に図書館への来館が困難な方に対して読書を楽しめる機会を提供することは、だれもが身近に読書に親しむための効果的な手段として評価できる。利用回数の増に向けて、一度だけでなく続けて利用したくなるような環境づくりや資料の充実に期待する。

イ 種類別（大活字本、外国語図書など）の貸出冊数が減少しているため、障がい者サービスについてさらなるPRが必要ではないかと思われる。資料の充実に加え、機会を捉えて対象者へのPRを行ってほしい。

(2) 「今後の方向性」への評価

ア 「サービスデザインアクションプラン」に掲げられた「足立での暮らしや学びが楽しくなる図書館」を実現するためには、障がいのある方へのサービスの充実を図る必要がある。利用者に寄り添ったサービスとなるよう、当事者の意見を聞き取りながら見直しを行い、各種サービスに反映してほしい。

イ ICT化を進めて利便性の向上を図ることは、現在の社会情勢を踏まえると不可欠である。多くの方が読書に触れ合える環境を提供し読書活動を推進していくためにも、ICT化や新たなサービスの導入を期待する。

(3) 「助言の反映状況」への評価

令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。
令和7年度に、外部評価を実施し、令和8年度に、令和7年度実施事業分として、評価の反映状況への評価を記載します。

5 推進委員会による評価（令和7年●月記載）

全体評価	達成度	方向性	反映状況
4	3	4	－

(1) 「現在の達成状況」への評価

ア 障がい者向け図書資料宅配サービスの貸出冊数やユニバーサルデザインの管内整理を進めていることは評価できる。事業のPRの成果であり、評価できる。一方、令和5年度実績と比べて減少している事実もあるため、それについては残念。

イ 大活字本や外国語図書などが図書館にあることを知らない対象者もいると思われる。障がいや言語などにかかわらず読書に親しめる環境整備は、公共図書館にとっては重要な施策であり、関係機関と連携し、主体的に潜在利用者への周知をしていただきたい。

(2) 「今後の方向性」への評価

ア 当事者の意見を伺う機会を設けることは非常に重要。障がい者の方や外国語図書を必要としている方など、実際に使っている方（必要とされている方）の声を聞いてより良い形に変更できたらいいと思う。当事者の意見聴取の方法として、相互理解を深めるイベントやワークショップを推進するなどの施策を進めていただきたい。

イ 図書資料宅配サービス自体が利用者にとってどういう評価をなされているか検証してみてもどうか。また、認知度なども把握してみてもどうか。

ウ 大活字本などは、病院の待合スペースなどに置いて、高齢者に手に取ってもらう機会を増やしたらいいかがか。

(3) 「助言の反映状況」への評価

令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。

6 推進委員会評価に対する区の考え方（項番等は「5 推進委員会による評価」に合わせて記載）（令和7年●月記載）

【様式】読書活動推進計画 施策評価シート（令和6年度実施事業分）

施策の柱	2	区民の読書に対する関心を高め支える環境の充実
施策名	2-3	区立図書館などの空間、サービス、情報発信の充実
担当部・課		地域のちから推進部 中央図書館
担当部：1～3、6を記入	庁内検討委員会：4を記入	推進委員会：5を記入

1 施策の方向性

乳幼児コーナー、閲覧スペース、書架等の空間上の工夫や、レファレンスをはじめとするサービス、Wi-Fiや利用者向け電源の設置など情報環境の充実を図る。また、ICタグを活用し、複合施設の機能を活かして、図書館機能の拡大を図り、誰もが利用しやすい環境づくりに取り組み、居場所としての図書館の役割を高めていく。

さらに、公共施設や区民・団体等との連携を図り、図書受渡窓口の整備など図書館外で区民が本を身近に手に取れる環境整備を目指すとともに、様々な媒体や関係する施設を活用し、本に関する情報発信を積極的に行う。

2 成果指標

※R8は目標値

指標名①	読書に関心のある区民の割合							
指標の定義	3計画アンケートにて、読書に関心があると回答した区民に割合							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	55.2%	実績値	55.2%	53.2%	未実施	未実施	未実施	65.0%
目標値（R8）	65.0%	達成率	84.9%	81.8%	-	-	-	
指標名②	1か月に本を読んだ区民の割合							
指標の定義	3計画アンケートにて、本を読むと回答した方の割合							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	54.3%	実績値	54.3%	52.9%	未実施	未実施	未実施	60.0%
目標値（R8）	60.0%	達成率	90.5%	88.2%	-	-	-	
指標名③	人口に占める登録者割合							
指標の定義	(算出式) $A \div B$ A 区立図書館登録者数計 B 足立区の総人口							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	26.1%	実績値	26.1%	23.9%	23.3%	22.9%	22.0%	35.0%
目標値（R8）	35.0%	達成率	74.6%	68.3%	66.5%	65.3%	62.7%	
指標名④	図書貸出冊数							
指標の定義	区立図書館における図書貸出冊数							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	3,146,503冊	実績値	3,146,503冊	2,940,503冊	2,745,072冊	2,593,084冊	2,422,669冊	3,232,000冊
目標値（R8）	3,232,000冊	達成率	97.4%	91.0%	84.9%	80.2%	75.0%	
指標名⑤	Webを活用した図書の予約貸出冊数							
指標の定義	パソコンやスマートフォン等インターネットを活用した、図書の予約貸出冊数							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	684,099冊	実績値	684,099冊	781,795冊	775,188冊	755,257冊	734,958冊	888,000冊
目標値（R8）	888,000冊	達成率	77.0%	88.0%	87.3%	85.1%	82.8%	

施策の手段として位置づける対応事業の達成度分布

進捗度	A	B	C	D	E	×	合計
事業数	12	2	1	0	0	0	15
%	80%	13%	7%	0%	0%	0%	100%

3 担当部における評価

<現在の達成状況>R8目標値に対する達成状況、要因分析、その他実績等

【達成状況】

指標①②は未実施。

指標③実績値（22.9%→22.0%）はR5年度を下回り、R8年度の目標値（35.0%）も下回った。

指標④実績値（2,593,084冊→2,422,669冊）はR5年度を下回り、R8年度の目標値（3,232,000冊）も下回った。

指標⑤実績値（755,257冊→734,958冊）はR5年度を下回り、R8年度の目標値（888,000冊）も下回った。

【要因分析】

(1) 指標③については、図書資料貸出数の減少（2,593,084冊→2,422,669冊）に伴い、Web予約の貸出冊数も減少したが、減少率（約2.7%）は図書資料全体の貸出冊数の減少率（約6.6%減）に比べて低い。貸出前にWeb予約を行う利用者の割合は増加しており、需要は引き続き高いと考えられる。

(2) 指標④については、近年、閲覧席のみの利用が増加しているほか、余暇活動の多様化やインターネット（電子書籍を含む）の普及などが主な理由として考えられる。

【その他実績等】

(1) 「まず図書館に来てもらう」ことを目指し、子ども向けのイベントの充実や閲覧席の利用環境を整えた。図書館を居場所の一つとして利用する方が増え、入館者数は4年連続で増加（R5:2,393,443→R6:2,444,222人）した。

(2) 中央図書館のポスターやチラシの掲示場所を複合施設全体で整理するとともに、禁止事項の張り紙を集約・削減したことで利用者目線に立った分かりやすい掲示を実現した。

<今後の方向性>現在の達成状況を踏まえた今後の方向性等

【短期の取り組み】

(1) 図書館でのイベントの充実や、魅力ある棚づくりを通して図書館に足を運ぶきっかけを増やしていく。

【中長期の取り組み】

(1) 「図書館サービスデザインアクションプラン」に掲げた目指すべき姿「本を読む人も読まない人も訪れ、区民でにぎわう図書館」を踏まえ、一人でもグループでも居心地の良い空間づくりや、より区民に寄り添った図書館サービスを実現するための区立図書館の見直しを行っていく。

(2) 区立図書館見直しの先駆けとして中央図書館のリニューアルを令和7年度から10年度にかけて実施する。誰もが居心地よく過ごすことができる居場所・閲覧空間や、特に用事がなくてもぶらりと立ち寄りたくなる明るく楽しい雰囲気づくりを目指していく。

<助言の反映状況>助言の反映有無、その理由

令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。
令和7年度に、外部評価を実施し、令和8年度に、令和7年度実施事業分として、評価の反映状況への評価を記載します。

全体評価	達成度	方向性	反映状況
4	3	4	—

4 区内検討委員会による評価（2次評価）

(1) 「現在の達成状況」への評価

- ア 区立図書館の登録者割合は緩やかではあるが減少が続いている。新規登録者の獲得と共に、登録の継続を促すような、居心地の良い魅力ある図書館づくりを進めてほしい。
- イ インターネットを活用した予約貸出冊数は減少しているが、担当部の分析にもあるように需要は引き続き高いと考えられる。図書の予約だけでなく、インターネットを通じたサービスの充実に力を入れてほしい。

(2) 「今後の方向性」への評価

- ア 図書館を取り巻く環境が大きく変化し、従来の枠から一歩踏み出したサービスを提供する図書館が注目されている中、足立区もアクションプランを策定し、図書館を「単に本を借りる場」から「利用者の活動や交流を促進するような場」にしていこうとする姿勢は評価できる。
- イ 中央図書館のリニューアルはコンセプトやターゲットが明確となり、魅力ある図書館にむけて期待ができる。ワークショップ等を通して区民の意見やニーズをしっかりとすくい上げて進めてほしい。

(3) 「助言の反映状況」への評価

令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。
令和7年度に、外部評価を実施し、令和8年度に、令和7年度実施事業分として、評価の反映状況への評価を記載します。

全体評価	達成度	方向性	反映状況
4	3	4	—

5 推進委員会による評価（令和7年●月記載）

(1) 「現在の達成状況」への評価

- ア 施策③から⑤いずれについても目標に達しておらず、かつ令和5年度よりも減少していて残念。5つの成果指標は区立図書館を運営していくうえで、肝となる数値と言える。図書館の登録者の分析（年齢や地域、居住年数など）も行えば、どこに課題があるのか見えてくるのではないかな。
- イ 一方、「わくわくにこにこ図書の森」の活動やホームページに区や時事に関するテーマを掲載するなど、個別の施策については評価できる。
- ウ だれもが居場所として快適に楽しめる空間だということを実感してもらえるアプローチを、あらゆる世代に向けて取り組んでほしい。さらに今後は国籍や言語を問わず楽しんでいただける図書館づくりも重要になる。

(2) 「今後の方向性」への評価

- ア レファレンスは、生成AIなどのツールの進化が進むことで役割が急激に変わっていくことが予想される。それに対する準備を急ぐ必要がある。司書と利用者が双方にコミュニケーションが取れるといいと思う。
- イ 魅力ある棚づくりの一環として、棚ごとに分かりやすいテーマをつけたり、書店で見かける手書きのお勧めPOPをつけたりしてはいいかな。
- ウ 中央図書館のリニューアルに期待したい。図書館は公共施設の中で、区民にとって一番魅力的なサードプレイスになり得るので、従来の「堅い、暗い、古い、静か」という図書館のイメージを覆すような空間づくりをしてほしい。

(3) 「助言の反映状況」への評価

令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。

6 推進委員会評価に対する区の考え方（項番等は「5 推進委員会による評価」に合わせて記載）（令和7年●月記載）

【様式】読書活動推進計画 施策評価シート（令和6年度実施事業分）

施策の柱	3	読書活動を通じた人と人とのつながりの形成
施策名	3-1	読書活動にかかわる人材の育成と団体の支援
担当部・課		地域のちから推進部 中央図書館
担当部：1～3、6を記入	庁内検討委員会：4を記入	推進委員会：5を記入

1 施策の方向性

読書活動推進の事業・サービスにかかわるボランティアを育成するとともに、様々な活躍の場を設けることで、読書活動を地域全体で活性化していくことを目指す。
また、読書活動に取り組む団体等を積極的に支援する。
区立図書館の職員、保育園や幼稚園の職員、学校図書館の運営・活用に関わる教諭などを対象とした研修を行い、読書活動スキルの向上を図る。

2 成果指標

※R8は目標値

指標名①	読み語り講座等の参加者のうち読書推進活動を参加希望する方の割合								
指標の定義	読み語り講座等の参加者のうち、アンケートで「読書推進活動に携わりたい」と回答した方の割合								
			H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	新規	実績値	－	71.0%	83.5%	69.9%	71.1%		75.0%
目標値（R8）	75.0%	達成率	－	94.7%	111.3%	93.2%	94.8%		

指標名②	図書資料の団体貸出冊数								
指標の定義	図書資料の団体（ボランティア団体、区立小中学校等）への貸出冊数								
			H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	120,840点	実績値	120,840点	227,201点	241,275点	231,049点	236,397点		230,000点
目標値（R8）	230,000点	達成率	52.5%	98.8%	104.9%	100.5%	102.8%		

指標名③									
指標の定義									
			H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）		実績値							
目標値（R8）		達成率							

施策の手段として位置づける対応事業の達成度分布

進捗度	A	B	C	D	E	×	合計
事業数	9	0	0	0	0	0	9
%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%

3 担当部における評価

＜現在の達成状況＞R8目標値に対する達成状況、要因分析、その他実績等

【達成状況】

指標①実績値（69.9%→71.1%）はR5年度を上回り、R8年度目標値（75.0%）を下回った。

指標②実績値（231,049点→236,397点）はR5年度を上回り、R8年度目標値（230,000点）も上回った。

【要因分析】

(1) 指標①については、講座実施後のアンケートからは「絵本の魅力を子どもに教えたいと思った」「良い絵本や読み聞かせの工夫を知ることができた」などの反応があり、講座の実施が受講生の読書推進活動へのモチベーション向上につながったと考えられる。

(2) 指標②については、調べる学習コンクールの応募児童・生徒の増や小中学校における図書を使った調べ学習の機会が増加したことに合わせて図書配送サービスの利用も増加したと考えられる。

【新しい生活様式への対応やその他実績等】

(1) 夏休み期間中、区立図書館全館で小・中学生を対象に「図書館を使った調べる学習コンクール」用図書の貸出を実施した（貸出冊数938冊）。また、校長会において調べ学習の図書貸出しについてのPRを行った。

(2) 区内児童館への図書配送について、児童館へのPRを行い、利用の増を図った（利用施設15館→16館・配送回数52回→84回・貸出冊数2,303冊→2,543冊）。

＜今後の方向性＞現在の達成状況を踏まえた今後の方向性等

【短期の取り組み】

(1) SNSやホームページ等を活用し、幅広く講座の参加者を募り、読み語りを行う人材のスキルアップとしての講座を引き続き行っていく。

(2) 調べ学習用図書配送サービス等の利用促進に向けて現場の教員や学校司書等へのPRを強化するとともに、利用促進に向けて学校現場の要望を聞き、サービス内容の充実を図る。

【中長期の取り組み】

(1) 読み語り講座の受講者に対して、読み語りボランティアグループの紹介や活動内容を紹介していくとともに個人でも活動できる場を紹介するなど、それぞれのニーズに合った活動機会の提供を検討していく。

＜助言の反映状況＞助言の反映有無、その理由

令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。
令和7年度に、外部評価を実施し、令和8年度に、令和7年度実施事業分として、評価の反映状況を記載します。

4 庁内検討委員会による評価（2次評価）

全体評価	達成度	方向性	反映状況
4	4	3	－

(1) 「現在の達成状況」への評価

ア 講座参加者が、読書活動推進活動に携わりたいという割合は増加し、その後の活動のモチベーションの向上につながっていることは、評価できる。

イ 区内小・中学校や児童館へのPRにより、団体貸出の増につながり、子どもたちが本に親しむ機会が増えたことは評価できる。

(2) 「今後の方向性」への評価

ア 読書の楽しさや大切さを伝えていけるように、読書活動に関わる人材の育成や活動の場を提供し、さらに読書活動が広がっていくことを期待する。

イ 児童・生徒の調べ学習の充実に繋げるため、公共図書館からの図書配送について、学校現場の意見を聞きながら内容の充実と学校の利便性の向上を図って欲しい。

(3) 「助言の反映状況」への評価

令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。
令和7年度に、外部評価を実施し、令和8年度に、令和7年度実施事業分として、評価の反映状況への評価を記載します。

5 推進委員会による評価（令和7年●月記載）

全体評価	達成度	方向性	反映状況
4	4	4	－

(1) 「現在の達成状況」への評価

ア 指標①②ともに令和5年度の実績値を上回っており評価できる。読み語り講座の参加者が増えており、区民の関心が高まっていることは評価できる。団体貸出冊数も制度の周知が十分に行き届いていたと考えられる。

イ 新規の学校図書館ボランティア養成・スキルアップ講座等の実施は、十分に発展性がある。おはなし会が未実施の児童館などにボランティア人材を派遣することも効果的である。様々なニーズのある読書環境を多くの人材が支える仕組みづくりは、重要である。

(2) 「今後の方向性」への評価

ア 読み聞かせの講座やボランティア講座は引き続き推進してほしい。講座の内容については子どもの権利、子ども真ん中などの国の理念・動向も重視した内容にブラッシュアップしてほしい。例年踏襲ではなく、時節に合った人材育成に期待する。

イ より多くの方に講座に参加いただくよう、周知に力を入れてほしい。SNSやホームページも当然のことながら、PTAやあやセンターぐるぐるなど、地域活動への参加が積極的である団体やコミュニティへのアプローチも進めていただきたい。

ウ ボランティア人材や団体の活躍の場を区がコーディネートしていく役割も大きな意義がある。

(3) 「助言の反映状況」への評価

令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。

6 推進委員会評価に対する区の考え方（項番等は「5 推進委員会による評価」に合わせて記載）（令和7年●月記載）

【様式】読書活動推進計画 施策評価シート（令和6年度実施事業分）

施策の柱	3	読書活動を通じた人と人とのつながりの形成
施策名	3-2	読書活動推進のための多様な連携と協創の推進
担当部・課		地域のちから推進部 中央図書館
担当部：1～3、6を記入	庁内検討委員会：4を記入	推進委員会：5を記入

1 施策の方向性

読書が個人の楽しみに終わることなく、各人の多様な関心と活動につながることを目指す。
 そのため区立図書館においては、本や読書活動をきっかけに利用者同士がコミュニケーションを図れるような事業展開を進めるとともに、区立図書館、地域学習センター、生涯学習振興公社、民間事業者などが連携し、区民の交流を促し、多様な活動につながるような取り組みを行っていく。また、読書をきっかけとして、文化やスポーツをはじめとする異なる分野への活動にもつながるような機会提供にも取り組む。

2 成果指標

※R8は目標値

指標名①	3分野連携事業への参加により、新たに読書を始めた区民の割合								
指標の定義	3分野連携事業の参加者アンケートにおいて、「定期的ではないが、読書をしている。」以上を選んだ区民の割合								
			H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	新規	実績値	－	75.7%	71.0%	72.4%	72.3%		83.0%
目標値（R8）	83.0%	達成率	－	91.2%	85.5%	87.2%	87.1%		

指標名②									
指標の定義									
			H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）		実績値							
目標値（R8）		達成率							

指標名③								
指標の定義								
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	実績値							
目標値（R8）	達成率							

施策の手段として位置づける対応事業の達成度分布

進捗度	A	B	C	D	E	×	合計
事業数	2	0		0	0	0	2
%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%

3 担当部における評価

＜現在の達成状況＞R8目標値に対する達成状況、要因分析、その他実績等

【達成状況】

指標①実績値（72.4%→72.3%）はほぼ横ばいであるが、R8年度の目標値（83.0%）は下回った。

【要因分析】

指標①について、引き続き区内15か所の拠点で文化芸術またはスポーツをきっかけに読書につなげるプログラムを実施したことにより、読書をしていない区民への働きかけができ、前年度と同等の実績を上げることができた。

【その他実績等】

- A-Festaに出展し、紙芝居の実演や工作会、本のとらば一ゆを実施し、多くの人へ絵本の楽しさを伝えることができた（延べ563人参加、とらば一ゆ406冊）。
- 学びピア21で「図書館にはたらく犬がやってくる」を開催し、障害のある方の理解を深めるため、日本補助犬協会による講演と補助犬のデモンストレーションユニバーサルデザイン製品の展示や関連本の貸出、調べ学習のPR等を行った（77人参加、6人14冊貸出）。

＜今後の方向性＞現在の達成状況を踏まえた今後の方向性等

【短期の取り組み】

- 普段本を読まない人でも気軽に本に触れられるよう、多くの人が集まる大型イベントに図書館ブースを出展するなど、アウトリーチ事業を中心に本の楽しさを伝えるイベントを積極的に実施し、本に触れる機会を増やすことで、読書習慣の定着を図っていく。
- まちなかで本と触れ合える仕組みを検討していく。先進事例を視察の上、R7年度中に事業の目的や位置付け、運営スタッフの配置、イベントや企画を区民が自発的に行うような体制について検討していく。

【中長期の取り組み】

- 「図書館サービスデザインアクションプラン」を踏まえて、乳幼児に向けた事業から地域の歴史や文化などをテーマにした大人向け事業の実施など、多様な人々が本や情報を仲立ちとして楽しくつながり、交流が生まれるような仕掛けや場所を創出し、利用者層の拡大を図っていく。

＜助言の反映状況＞助言の反映有無、その理由

令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。
 令和7年度に、外部評価を実施し、令和8年度に、令和7年度実施事業分として、評価の反映状況を記載します。

4 庁内検討委員会による評価（2次評価）

全体評価	達成度	方向性	反映状況
3	3	3	－

(1) 「現在の達成状況」への評価

ア 指標①については、近年実績値がほぼ横ばいであり、R8目標値には取り組みの強化が必要と思われる。新たな場所や切り口を検討するなど、工夫を図ってほしい。

(2) 「今後の方向性」への評価

ア アウトリーチ事業として身近な場所で本に親しむことができることは、普段あまり図書館を利用しない親子にとっても本を楽しむきっかけづくりにつながる。関係機関との連携を強化し、より効果的な場所での開催を検討することで、読書に親しめる内容のイベントを数多く実施してほしい。

イ 子どもから高齢者まであらゆる世代が図書館サービスを利用でき、図書館を通じて楽しくつながる仕掛けや場所の創出方法の検討をしてほしい。

(3) 「助言の反映状況」への評価

令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。
令和7年度に、外部評価を実施し、令和8年度に、令和7年度実施事業分として、評価の反映状況への評価を記載します。

5 推進委員会による評価（令和7年●月記載）

全体評価	達成度	方向性	反映状況
4	4	4	－

(1) 「現在の達成状況」への評価

ア 文化芸術やスポーツを読書につなげる取り組みはとて素晴らしいと思う。一方で割合は低くないものの、目標達成には至らない状況が続いている。これまでの取り組みも継続しつつ、新たな取り組みにも期待したい。

イ アウトリーチ事業については、令和5年度よりも多くなっている点は評価できる。区内15か所の拠点で文化芸術やスポーツをきっかけに読書につなげるプログラムを実施したことは評価できる。

ウ 3つの対応事業も、新規事業を含め「A」を達成していることは、評価できる。とりわけ、アウトリーチ事業においては、初めての実施では場所の選定や手法などに時間を要することも想定され、他部署や民間事業者の理解と協力が欠かせない。

(2) 「今後の方向性」への評価

ア 参加意欲をかきたてるような取り組み・イベントを引き続き検討してほしい。

イ アウトリーチ事業やイベントは様々な事業と連携することで、最小の工数で最大の効果が出るため、引き続き効率の良い連携方法を検討してほしい。

ウ 普段読まない、本に興味がない人が集まる場所での本との接点づくりが大切であると考え。その点では、まちなかで本と触れ合える仕組みについては、共働き世帯が増え、時間がないという人も多くいる現代において、非常に重要な視点であると考え。

エ 地域のさまざまな場所で読書ができる環境を整備することで、本が身近にあり、本が人と人とをつなぎ、「楽しさと出会えるまち」を大いに期待する。

(3) 「助言の反映状況」への評価

令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。

6 推進委員会評価に対する区の考え方（項番等は「5 推進委員会による評価」に合わせて記載）（令和7年●月記載）

アンケート調査項目一覧（16歳以上用） 新旧対照表（案）

資料 4

令和3年度				令和7年度（案）							
	設問	ねらい			設問	ねらい	分類				備考
							追加	継続	変更	削除	
	性・年代等の基本属性について			性・年代等の基本属性について							
1	性別	分析軸として活用します。（例：年代、年代-性別 等）	→	1	性別	分析軸として活用します。（例：年代、年代-性別 等）		○			
2	年代（5歳年齢階級）	分析軸として活用します。（例：未成年、若年層、高齢者 等）		2	年代（5歳年齢階級）	分析軸として活用します。（例：未成年、若年層、高齢者 等）		○			
3	居住地区	分析軸として活用します。（例：地域学習センターの設置地区等）		3	居住地区	分析軸として活用します。（例：地域学習センターの設置地区等）			○		居住年数を追加
4	職業	分析軸として活用します。（例：職業の有無別）		4	職業	分析軸として活用します。（例：職業の有無別）		○			
5	子どもの有無	分析軸として活用します。（例：子どもの有無別）		5	子どもの有無	分析軸として活用します。（例：子どもの有無別）			○		① 質問文変更 ② 選択肢から「18歳以上の子どもがいる」を削除
6	18歳未満の子どもの人数	分析軸として活用します。		6	18歳未満の子どもの人数	分析軸として活用します。		○			
文化・読書・スポーツに対する関心について				文化・読書・スポーツに対する関心について							
7	文化・読書・スポーツの関心の有無	各分野における関心・行動の度合いを把握するために活用します。		7	文化・読書・スポーツの関心の有無	各分野における関心・行動の度合いを把握するために活用します。		○			

令和3年度			→	令和7年度（案）							
	設問	ねらい			設問	ねらい	分類				備考
							追加	継続	変更	削除	
8	（文化に関心ある人のみ）文化に関心を持つようになったきっかけ	文化芸術における関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。		8	（文化に関心ある人のみ）文化に関心を持つようになったきっかけ	文化芸術における関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。			○		
9	（読書に関心ある人のみ）読書に関心を持つようになったきっかけ	読書における関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。		9	（読書に関心ある人のみ）読書に関心を持つようになったきっかけ	読書における関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。			○		
10	（スポーツに関心ある人のみ）スポーツに関心を持つようになったきっかけ	運動・スポーツにおける関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。		10	（スポーツに関心ある人のみ）スポーツに関心を持つようになったきっかけ	運動・スポーツにおける関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。			○		
文化芸術について				文化芸術について							
11	関心のあるジャンル	関心のあるジャンルを把握します。		11	関心のあるジャンル	関心のあるジャンルを把握します。		○			
12	過去1年間における文化芸術の鑑賞の有無	関心・行動の度合いを把握するために活用します。		12	過去1年間における文化芸術の鑑賞の有無	関心・行動の度合いを把握するために活用します。		○			
13	（鑑賞したことがある人のみ）鑑賞の仕方（区内・区外）	「受動的に」「一人で」「主体的に」の視点で鑑賞の仕方を把握します。主体的に鑑賞する人ほど、人生100年時代を心豊かに生きるための要素等が肯定的な結果を示すと考えています。								○	

令和３年度			→	令和７年度（案）							
	設問	ねらい			設問	ねらい	分類				備考
							追加	継続	変更	削除	
				13	<u>（鑑賞したことがある人のみ）文化芸術情報の入手ツール</u>	<u>情報発信の効率化を目指し、区民の情報収集手段の傾向を把握します。</u>	○				
14	（鑑賞したことがない人のみ）鑑賞しなかった理由	関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。		14	（鑑賞したことがない人のみ）鑑賞しなかった理由	関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。			○		
15	文化芸術に関わるイベント・講座の参加の有無	参加・活動している人ほど、人生100年時代を心豊かに生きるための要素等が肯定的な結果を示すと考えています。		15	文化芸術に関わるイベント・講座の参加の有無	参加・活動している人ほど、人生100年時代を心豊かに生きるための要素等が肯定的な結果を示すと考えています。			○		
16	（参加した人のみ）参加後の文化芸術に関わる行動	参加後の文化芸術に関わる行動の実態を把握します。								○	
17	文化芸術に関わる活動の参加の有無	文化芸術に関わる活動への参加の実態について把握します。		16	文化芸術に関わる活動の参加の有無	文化芸術に関わる活動への参加の実態について把握します。		○			
18	（活動している人のみ）活動の仕方	活動への関わり方について把握します。								○	
19	区内や地域の伝統芸能や文化財などの鑑賞・体験の有無	区内や地域の伝統芸能や文化財などの鑑賞・体験の実態について把握します。		17	区内や地域の伝統芸能や文化財などの鑑賞・体験の有無	区内や地域の伝統芸能や文化財などの鑑賞・体験の実態について把握します。		○			

令和3年度				令和7年度（案）							
	設問	ねらい			設問	ねらい	分類				備考
							追加	継続	変更	削除	
20	文化芸術を楽しむ人が増えるために必要な施策	関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。		18	文化芸術を楽しむ人が増えるために必要な施策	関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。		○			
読書について				読書について							
21	最近1ヶ月間における読書活動の有無	関心・行動の度合いを把握するために活用します。	→	19	最近1ヶ月間における読書活動の有無	関心・行動の度合いを把握するために活用します。			○		① 「課題図書」等を読書活動の対象に含める ② 選択肢に「気になったネット記事を読む」を追加
22	（本を読んだ人のみ）読書の仕方	読書の仕方について把握します。		20	（本を読んだ人のみ）読書の仕方	読書の仕方について把握します。		○			
23	（本を読まなかった人のみ）本を読まなかった理由	関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。		21	（本を読まなかった人のみ）本を読まなかった理由	関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。			○		質問文及び選択肢修正
24	電子書籍を活用した頻度	電子書籍を活用した頻度について把握します。		22	電子書籍を活用した頻度	電子書籍を活用した頻度について把握します。		○			
25	過去1年間でおこなった読書活動	活動している人ほど、人生100年時代を心豊かに生きるための要素等が肯定的な結果を示すと考えています。		23	過去1年間でおこなった読書活動	活動している人ほど、人生100年時代を心豊かに生きるための要素等が肯定的な結果を示すと考えています。			○		選択肢修正 ※ 本に関するイベント参加や紹介動画の活用を追加
26	図書館を利用する目的	図書館のサービスニーズを把握し、施策を検討するために活用します。		24	図書館を利用する目的	図書館のサービスニーズを把握し、施策を検討するために活用します。			○		「図書館を利用していない」理由の自由記述欄を追加

令和3年度			令和7年度（案）							
設問	ねらい		設問	ねらい	分類				備考	
					追加	継続	変更	削除		
			25	利用する区立図書館	よく利用する区立図書館の傾向について把握します。	○				
			26	区立図書館の居心地の良さ	区立図書館における居心地の良い空間づくりの達成度合いを把握します。	○				
			27	区立図書館職員の相談のしやすさ	区立図書館における調べもののサポートや情報拠点としての役割の達成度合いを把握します。	○				
			28	区立図書館の満足度	区立図書館サービスの満足度合いを把握します。	○				
運動・スポーツについて			運動・スポーツについて							
			29	運動習慣・健康意識の程度（運動習慣）	多様なライフステージに応じた運動習慣の定着度合いを把握します。	○				
			30	運動習慣・健康意識の程度（健康意識）	多様なライフステージに応じた健康意識の定着度合いを把握します。	○				
			31	運動機会の希望・ニーズの程度（希望）	●●●●・・・。	○				
			32	運動機会の希望・ニーズの程度（ニーズ）	●●●●・・・。	○				

令和3年度				令和7年度（案）							
	設問	ねらい			設問	ねらい	分類				備考
							追加	継続	変更	削除	
				33	地域連携・ボランティアの程度（地域連携）	●●●●・・・。	○				
				34	地域連携・ボランティアの程度（ボランティア）	●●●●・・・。	○				
27	過去1年間における運動・スポーツの実施の有無	関心・行動の度合いを把握するために活用します。		35	過去1年間における運動・スポーツの実施の有無	関心・行動の度合いを把握するために活用します。		○			
28	（実施した人のみ）運動・スポーツの実施頻度	運動・スポーツの実施頻度について把握します。		36	（実施した人のみ）運動・スポーツの実施頻度	運動・スポーツの実施頻度について把握します。		○			
29	（実施した人のみ）運動・スポーツの実施場所	関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。		37	（実施した人のみ）運動・スポーツの実施場所	関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。		○			
			→	38	（実施した人のみ）運動・スポーツの効果実感の程度	量的な実施の有無だけでなく、質的な充実感や身体的・精神的効果の度合いを把握することで、スポーツ政策の成果を測定します。	○				
30	（実施しなかった人のみ）運動・スポーツをしなかった理由	関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。		39	（実施しなかった人のみ）運動・スポーツをしなかった理由	関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。			○		

令和3年度			令和7年度（案）								
	設問	ねらい		設問	ねらい	分類				備考	
						追加	継続	変更	削除		
31	過去1年間における運動・スポーツの観戦の有無（トップスポーツ・地域の運動会）	観戦している人ほど、人生100年時代を心豊かに生きるための要素等が肯定的な結果を示すと考えています。		40	過去1年間における運動・スポーツの観戦の有無（トップスポーツ・地域の運動会）	観戦している人ほど、人生100年時代を心豊かに生きるための要素等が肯定的な結果を示すと考えています。		○			
32	（観戦したひとのみ）観戦の仕方（区外・区内）	観戦の仕方について把握します。		41	（観戦したひとのみ）観戦の仕方（区外・区内）	観戦の仕方について把握します。			○		
33	（観戦しなかった人のみ）観戦しなかった理由	観戦しなかった理由について把握します。								○	
34	過去1年間における運動・スポーツの支える活動の有無	活動している人ほど、人生100年時代を心豊かに生きるための要素等が肯定的な結果を示すと考えています。		42	過去1年間における運動・スポーツの支える活動の有無	活動している人ほど、人生100年時代を心豊かに生きるための要素等が肯定的な結果を示すと考えています。		○			
35	（活動しなかった人のみ）活動しなかった理由	活動しなかった理由について把握します。		43	（活動しなかった人のみ）活動しなかった理由	活動しなかった理由について把握します。			○		
文化・読書・スポーツに関わる活動について			文化・読書・スポーツに関わる活動について								
36	文化・読書・スポーツを楽しむ人が増えることによるまちへの効果	各分野における関心・行動の度合いが高い人ほど、まちへの効果に対して肯定的な回答が多いと考えています。		44	文化・読書・スポーツを楽しむ人が増えることによるまちへの効果	各分野における関心・行動の度合いが高い人ほど、まちへの効果に対して肯定的な回答が多いと考えています。		○			
37	「ちょいスポ」・「ちょいカル」・「●読み」キャンペーンの認知度	取組の認知度（参加状況）を把握します。		45	「ぶちスポ」・「ぶちカル」・「ぶち読み」キャンペーンの認知度	取組の認知度（参加状況）を把握します。			○		

令和3年度			→	令和7年度（案）							
	設問	ねらい			設問	ねらい	分類				備考
							追加	継続	変更	削除	
38	「ちょいスポ」・「ちょいカル」・「●読み」キャンペーンへの参加希望	取組への参加希望の実態を把握します。		46	「ぶちスポ」・「ぶちカル」・「ぶち読み」キャンペーンへの参加希望	取組への参加希望の実態を把握します。			○		
39	コロナ禍を経て3分野に充てる時間の変化について	（行動）3分野の活動の実態を把握します。								○	
40	コロナ禍を経て3分野の活動の満足度について	（行動）3分野の活動の意識（満足度）を把握します。								○	
41	コロナ禍を経て3分野の活動の仕方の変化について	3分野の活動の仕方の変化を把握します。								○	
42	コロナ禍を経て3分野の活動の仕方における対面での実施の重要性に関する意識変化	3分野の活動の仕方における対面での実施の重要性に関する意識変化を把握します。								○	
あなたの日常生活について				あなたの日常生活について							
43	人生100年時代を心豊かに生きるための要素（意欲）に関するあてはまり	各分野における関心・行動の度合いが高い人ほど、人生100年時代を心豊かに生きるための要素等が肯定的な結果を示すと考えています。		47	人生100年時代を心豊かに生きるための要素（意欲）に関するあてはまり	各分野における関心・行動の度合いが高い人ほど、人生100年時代を心豊かに生きるための要素等が肯定的な結果を示すと考えています。		○			
44	人生100年時代を心豊かに生きるための要素（実践）に関するあてはまり	意欲から実践へのつながりの度合いについて把握します。		48	人生100年時代を心豊かに生きるための要素（実践）に関するあてはまり	意欲から実践へのつながりの度合いについて把握します。		○			

令和３年度			→	令和７年度（案）							
	設問	ねらい			設問	ねらい	分類				備考
							追加	継続	変更	削除	
45	ご近所づきあいや地域活動の有無	各分野における関心・行動の度合いが高い人ほど、社会関係資本を持つ回答者が多いと考えています。		49	ご近所づきあいや地域活動の有無	各分野における関心・行動の度合いが高い人ほど、社会関係資本を持つ回答者が多いと考えています。		○			
46	（ご近所づきあいや地域活動をしない人のみ）ご近所づきあいや地域活動をしない理由	ご近所づきあいや地域活動をしない理由について把握します。		50	（ご近所づきあいや地域活動をしない人のみ）ご近所づきあいや地域活動をしない理由	ご近所づきあいや地域活動をしない理由について把握します。			○		
47	区内の人とのつながりの有無	区内の人とのつながりの実態について把握します。		51	区内の人とのつながりの有無	区内の人とのつながりの実態について把握します。		○			
48	足立区に対する愛着・誇り・推奨、可処分時間・所得の程度	各分野における関心・行動の度合いが高い人ほど、シビックプライド（愛着・誇り・推奨）が肯定的な結果を示すと考えています。可処分時間・所得のない人ほど、各分野における関心・行動の度合いが低いと考えています。関心・行動を高めるターゲットを明確にする際に活用します。		52	足立区に対する愛着・誇り・推奨、可処分時間・所得の程度	各分野における関心・行動の度合いが高い人ほど、シビックプライド（愛着・誇り・推奨）が肯定的な結果を示すと考えています。可処分時間・所得のない人ほど、各分野における関心・行動の度合いが低いと考えています。関心・行動を高めるターゲットを明確にする際に活用します。		○			
49	自由回答（文化・読書・スポーツ）	各分野に対する区民の意見を把握し、必要に応じて計画内容を検討するための資料とします。		53	自由回答（文化・読書・スポーツ）	各分野に対する区民の意見を把握し、必要に応じて計画内容を検討するための資料とします。		○			

アンケート調査項目一覧（小5・中1用） 新旧対照表（案）

資料 4

① 保護者向け調査

令和３年度				令和７年度（案）							
	設問	ねらい			設問	ねらい	分類				備考
							追加	継続	変更	削除	
	性・年代等の基本属性について			性・年代等の基本属性について							
1	回答者自身の性別	分析軸として活用します。	→	1	回答者自身の性別	分析軸として活用します。		○			
2	回答者自身の年代（５歳年齢階級）	分析軸として活用します。		2	回答者自身の年代（５歳年齢階級）	分析軸として活用します。		○			
3	お子さんとの関係	分析軸として活用します。		3	お子さんとの関係	分析軸として活用します。		○			
	あなたの文化・読書・スポーツに対する関心・行動について			あなたの文化・読書・スポーツに対する関心・行動について							
4	文化・読書・スポーツの関心の有無	各分野における関心・行動の度合いを把握するために活用します。		4	文化・読書・スポーツの関心の有無	各分野における関心・行動の度合いを把握するために活用します。		○			
5	過去１年間における文化芸術の鑑賞の有無	関心・行動の度合いを把握するために活用します。		5	過去１年間における文化芸術の鑑賞の有無	関心・行動の度合いを把握するために活用します。		○			
6	最近1ヶ月間における読書活動の有無	関心・行動の度合いを把握するために活用します。		6	最近1ヶ月間における読書活動の有無	関心・行動の度合いを把握するために活用します。			○		選択肢に以下2項目を追加 「本などの紹介動画や通販サイトをみる」 「気になったネット記事を読む」

令和3年度			→	令和7年度（案）							
	設問	ねらい			設問	ねらい	分類				備考
							追加	継続	変更	削除	
7	過去1年間における運動・スポーツの実施の有無	関心・行動の度合いを把握するために活用します。		7	過去1年間における運動・スポーツの実施の有無	関心・行動の度合いを把握するために活用します。		○			
8	（実施した人のみ）運動・スポーツの実施頻度	運動・スポーツの実施頻度について把握します。		8	（実施した人のみ）運動・スポーツの実施頻度	運動・スポーツの実施頻度について把握します。		○			
					運動・スポーツを実施しなかった理由	運動・スポーツを実施しなかった理由を把握します。	⊖				
9	可処分時間・所得の程度（回答者自身・お子さんのため）	分析軸として活用します。特に、保護者の可処分時間・所得のない家庭の子どもほど、各分野における関心・行動の度合いが低いと考えています。関心・行動を高めるターゲットを明確にする際に活用します。		9	可処分時間・所得の程度（回答者自身・お子さんのため）	分析軸として活用します。特に、保護者の可処分時間・所得のない家庭の子どもほど、各分野における関心・行動の度合いが低いと考えています。関心・行動を高めるターゲットを明確にする際に活用します。		○			
10	コロナ禍を経て3分野に充てる時間の変化について	（行動）3分野の活動の実態を把握します。								○	
11	コロナ禍を経て3分野の活動の満足度について	（行動）3分野の活動の意識（満足度）を把握します。								○	
あなたのお子さんのことについて				あなたのお子さんのことについて							
12	お子さんの性別	分析軸として活用します。		10	お子さんの性別	分析軸として活用します。		○			

令和３年度			→	令和７年度（案）							
	設問	ねらい			設問	ねらい	分類				備考
							追加	継続	変更	削除	
13	お子さんの対処能力のあてはまり	各分野における関心・行動の度合いが高い子どもほど、対処能力のあてはまりが肯定的な結果を示すと考えています。		11	お子さんの対処能力のあてはまり	各分野における関心・行動の度合いが高い子どもほど、対処能力のあてはまりが肯定的な結果を示すと考えています。			○		
14	お子さんの学校以外での文化的な活動の有無	活動している子どもほど、対処能力や自己肯定感のあてはまりが肯定的な結果を示すと考えています。		12	お子さんの学校以外での文化的な活動の有無	活動している子どもほど、対処能力や自己肯定感のあてはまりが肯定的な結果を示すと考えています。		○			
15	お子さんが文化・読書・スポーツを楽しむことで得られるもの	各分野における関心・行動の度合いが高い保護者ほど、各分野を楽しむことで子どもが得られるものに対して肯定的な回答が多いと考えています。		13	お子さんが文化・読書・スポーツを楽しむことで得られるもの	各分野における関心・行動の度合いが高い保護者ほど、各分野を楽しむことで子どもが得られるものに対して肯定的な回答が多いと考えています。		○			
お子さんの小学校入学直前１年間の様子について				お子さんの小学校入学直前１年間の様子について							
16	文化・読書・スポーツの関心のうち、お子さんが好きだったこと	未就学児の頃について、各分野における関心・行動の度合いを把握するために活用します。		14	文化・読書・スポーツの関心のうち、お子さんが好きだったこと	未就学児の頃について、各分野における関心・行動の度合いを把握するために活用します。		○			
17	お子さんの文化芸術的な活動の有無	未就学児の頃について、文化芸術活動の実態を把握します。		15	お子さんの文化芸術的な活動の有無	未就学児の頃について、文化芸術活動の実態を把握します。		○			

令和3年度			→	令和7年度（案）							
	設問	ねらい			設問	ねらい	分類				備考
							追加	継続	変更	削除	
18	お子さんが本を読んで いたかどうか	未就学児の頃につい て、読書活動の実態を 把握します。		16	お子さんが本を読んで いたかどうか	未就学児の頃につい て、読書活動の実態を 把握します。		○			
19	お子さんにおける本を 読む以外の読書に関わ る活動の有無	未就学児の頃につい て、運動・スポーツ活 動の実態を把握しま す。		17	お子さんにおける本を 読む以外の読書に関わ る活動の有無	未就学児の頃につい て、運動・スポーツ活 動の実態を把握しま す。		○			
20	お子さんの運動・ス ポーツの実施頻度	未就学児の頃につい て、運動・スポーツの 実施頻度について把握 します。		18	お子さんの運動・ス ポーツの実施頻度	未就学児の頃につい て、運動・スポーツの 実施頻度について把握 します。		○			
21	（お子さんに文化・読 書・スポーツをさせな かった人のみ）させな かった理由	未就学児に対して、関 心・行動の度合いを高 めるための施策を検討 するために活用しま す。		19	（お子さんに文化・読 書・スポーツをさせな かった人のみ）させな かった理由	未就学児に対して、関 心・行動の度合いを高 めるための施策を検討 するために活用しま す。			○		

アンケート調査項目一覧（小5・中1用） 新旧対照表（案）

② 児童・生徒向け調査

令和3年度				令和7年度（案）							
	設問	ねらい			設問	ねらい	分類				備考
							追加	継続	変更	削除	
	3分野への関心について			3分野への関心について							
1	文化・読書・スポーツの関心の有無	各分野における関心・行動の度合いを把握するために活用します。	➡	1	文化・読書・スポーツの関心の有無	各分野における関心・行動の度合いを把握するために活用します。		○			
	文化芸術について			文化芸術について							
2	過去1年間における文化芸術の鑑賞の有無	文化芸術における関心・行動の度合いを把握するために活用します。	➡	2	過去1年間における文化芸術の鑑賞の有無	文化芸術における関心・行動の度合いを把握するために活用します。		○			
3	（鑑賞していない人のみ）鑑賞するようになるきっかけ	関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。								○	
					3	（鑑賞したことがある人のみ）文化芸術情報の入手ツール	情報発信の効率化を目指すし、区民の情報収集手段の傾向を把握します。	○			
	読書について			読書について							
4	最近1ヶ月間における読書活動の有無	読書における関心・行動の度合いを把握するために活用します。		4	最近1ヶ月間における読書活動の有無	読書における関心・行動の度合いを把握するために活用します。			○		選択肢に以下2項目を追加 「本などの紹介動画や通販サイトをみる」 「気になったネット記事を読む」

令和3年度			→	令和7年度（案）							
	設問	ねらい			設問	ねらい	分類				備考
							追加	継続	変更	削除	
5	(本を読んだ人のみ) 読書の方法	読書の仕方について把握します。		5	(本を読んだ人のみ) 読書の方法	読書の仕方について把握します。		○			
6	(本を読まなかった人のみ) 本を読むようになるきっかけ	関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。		6	(本を読まなかった人のみ) 本を読むようになるきっかけ	関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。		○			
7	電子書籍を活用した頻度	電子書籍を活用した頻度について把握します。		7	電子書籍を活用した頻度	電子書籍を活用した頻度について把握します。		○			
8	学校の図書館・図書室に行く頻度	学校の図書館・図書室の利用状況を把握し、利用していない子どもがどのくらいいるのかを把握します。		8	学校の図書館・図書室に行く頻度	学校の図書館・図書室の利用状況を把握し、利用していない子どもがどのくらいいるのかを把握します。		○			
9	(学校図書館に行く人のみ) 学校の図書館・図書室に行く目的	学校の図書館・図書室の利用目的を把握し、利用を促進するための施策を検討するために活用します。		9	(学校図書館に行く人のみ) 学校の図書館・図書室に行く目的	学校の図書館・図書室の利用目的を把握し、利用を促進するための施策を検討するために活用します。		○			
スポーツについて				スポーツについて							
10	1週間あたりの運動・スポーツの実施頻度	運動・スポーツにおける関心・行動の度合いを把握するために活用します。		10	1週間あたりの運動・スポーツの実施頻度	運動・スポーツにおける関心・行動の度合いを把握するために活用します。		○			
				11	<u>運動・スポーツの実施場所</u>	<u>関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。</u>	○				

令和3年度				令和7年度（案）							
	設問	ねらい			設問	ねらい	分類				備考
							追加	継続	変更	削除	
				12	運動・スポーツの効果 実感の程度	量的な実施の有無だけ ではなく、質的な充実 感や身体的・精神的効 果の度合いを把握する ことで、スポーツ政策 の効果を測定します。	○				
				13	運動・スポーツ実施の きっかけ・動機	●●●●・・・。	○				
11	（実施していない人の み）実施するようにな るきっかけ	関心・行動の度合いを 高めるための施策を検 討するために活用しま す。		14	（実施していない人の み）実施するようにな るきっかけ	関心・行動の度合いを 高めるための施策を検 討するために活用しま す。		○			
12	スポーツ観戦の有無	スポーツ（観戦）にお ける関心・行動の度合 いを把握するために活 用します。		15	スポーツ観戦の有無	スポーツ（観戦）にお ける関心・行動の度合 いを把握するために活 用します。		○			
自己肯定感・主観的健康観について				自己肯定感・主観的健康観について							
13	自己肯定感・主観的健康観のあてはまり	各分野における関心・ 行動の度合いが高い子 どもほど、自己肯定 感・主観的健康観が肯 定的な結果を示すと考 えています。	→	16	自己肯定感・主観的健康観のあてはまり	各分野における関心・ 行動の度合いが高い子 どもほど、自己肯定 感・主観的健康観が肯 定的な結果を示すと考 えています。		○			
あなたの日常生活について（コロナ禍での変化）				あなたの日常生活について（コロナ禍での変化）							
14	コロナ禍を経て3分野 に充てる時間の変化に ついて	（行動）3分野の活動 の実態を把握します。	→							○	

令和３年度				令和７年度（案）							
	設問	ねらい			設問	ねらい	分類				備考
							追加	継続	変更	削除	
15	コロナ禍を経て３分野の活動の満足度について	（行動）３分野の活動の意識（満足度）を把握します。								○	



足立区 文化・読書・スポーツに関するアンケート調査

ご回答いただく皆様へ

ご回答いただいた内容は、すべて個人が特定できないよう統計的に処理し、お名前や個別のご意見がそのまま公表されることはありません。また、統計の報告以外の目的には使用いたしません。ぜひ率直なご意見をお聞かせください。

- 封筒の宛名に表示のあるご本人がお答えください。もし、ご本人がご記入いただけないときは、身近な方が、ご本人の意見を聞きながら記入してくださいようお願いいたします。万一、ご病気などでお答えいただけない場合や、読みたくない、回答したくない場合は、無理にすべての設問を回答しなくてもかまいません。可能でしたら、ご回答いただける質問のみでもお答えいただければ幸いです。
- 回答方法は調査票（紙）またはWEB（インターネット）の2種類からお選びいただけます。
- 調査票へのご記入は、黒のボールペンまたは鉛筆でお願いします。お答えは、あてはまる番号に○印をつけてください。
- WEBで回答される方は、下のQRコードからアクセスしていただき、IDをご入力の上、下記の締め切り日までにご回答ください。
- 質問によっては、回答していただく方や○をつける数を指定しておりますので、（ ）内のことわり書きをよくお読みください。
- 「その他」にあてはまる場合は、（ ）内にできるだけ具体的にその内容を記入してください。
- この調査票は、無記名式となっています。調査票と返信用封筒には、ご住所・お名前をご記入いただく必要はありません。

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒にて、11月5日（金）までに
ご投函ください（切手を貼る必要はありません）。なお、調査の内容、考え方、記入のしかたなどについて、わからないことがございましたら、下記までご連絡ください。

【お問い合わせ先】

足立区地域のちから推進部生涯学習支援課
電話：03-3880-8017

メール：sg-shien@city.adachi.tokyo.jp

WEB回答のID・パスワード

パスワード:3880

ID:

WEBで回答される方は
こちらから➡

【URL】

<https://forms.gle/rbEFhWTfJUmozRa7>



1. あなたのことについて

問1. あなたの性別をお答えください（○は1つ）。

1. 男性	2. 女性	3. どちらでもない	4. 無回答
-------	-------	------------	--------

問2. あなたの年齢をお答えください（令和7年●月●日現在、○は1つ）。

1. 19歳以下	5. 35～39歳	9. 55～59歳	13. 75～79歳
2. 20～24歳	6. 40～44歳	10. 60～64歳	14. 80歳以上
3. 25～29歳	7. 45～49歳	11. 65～69歳	
4. 30～34歳	8. 50～54歳	12. 70～74歳	

問3. 【変更】お住まいの地区・居住年数を教えてください。町名だけでなく、あれば丁目までご記入ください。

※ 町名は、「千住関屋町」「小台」「加平」「西新井」「花畑」など

町名：	丁目：	居住年数：約 年
-----	-----	----------

問4. あなたの職業をお答えください（○は1つ）。

1. 自営業・事業主	5. 主に家事に従事（専業主婦・主夫など）
2. 自由業	6. 学生
3. 会社員・公務員	7. 無職
4. パート・アルバイト	8. その他（ ）

問5. 【変更】あなたには、現在、18歳以上の同居しているお子さんがいますか（○はいくつでも）。

1. 未就学児（3歳以下）の子どもがいる	5. 中学生以上18歳未満の子どもがいる
2. 未就学児（4歳以上）の子どもがいる	6. いない
3. 小学校1～3年生の子どもがいる	
4. 小学校4～6年生の子どもがいる	

問6は問5で「1」～「5」を選んだ人のみお答えください。

問6. 18歳未満のお子さんは何人いますか。

にん 人

2. 文化・読書・スポーツに対する関心について

ここからの質問に出てくる「文化芸術」「読書」「運動・スポーツ」は以下のことを指します。

【言葉の定義】

文化芸術	音楽、美術、演劇、舞踊、芸能（歌舞伎、能・狂言、雅楽など）、文化財・遺跡、華道、書道、茶道、盆栽、映画など
読書	本や雑誌、漫画などを読むこと。電子書籍（紙に印刷された本ではなく、画面で読む本や雑誌のこと）も含まれます。
運動・スポーツ	競技スポーツに限らず、健康増進のための軽い体操やウォーキングのほか、エレベーターを使わずに階段を使う、バス停1つ分を歩くなどの目的をもった身体活動を含みます。

問7. あなたは、次のことに関心がありますか（○はいくつでも）。

※ 現在、文化芸術、読書、運動・スポーツに関わる活動をおこなっていないなくても、関心があれば「1」～「3」に○をご記入ください。

- 文化芸術（観たり、聴いたり、創作すること）
- 読書
- 運動・スポーツ（実施したり、観戦したり、支援すること）
- 文化芸術、読書、運動・スポーツ以外のことに関心がある（ ）
- 特に関心のある分野はない

問8は問7で「1」を選んだ人のみお答えください。

問8. 【変更】あなたが文化芸術に関心を持つようになったきっかけは何ですか（○はいくつでも）。

- 親（家族・親族など）が文化芸術を観たり、聴いたりさせてくれた
- 親（家族・親族など）が文化芸術に親しんでいた
- 自分の子どもが文化芸術を好きだ
- 友人・知人に誘われて
- 学校の授業や行事・部活動の経験
- テレビや新聞などの宣伝・広告をみて
- 小説や漫画を通じて
- ドラマや映画を通じて
- 特定の作家・アーティストや作品に関心を持った
- 足立区の施設で公演・展示会などを観たり、聴いたりして
- 【削除】新型コロナウイルス感染症の影響により時間ができた
- その他（ ）

問9は問7で「2」を選んだ人のみお答えください。

問9. 【変更】あなたが読書に関心を持つようになったきっかけは何ですか(○はいくつでも)。

1. 親(家族・親族など)と一緒に本を読んできた
2. 親(家族・親族など)が図書館や本屋に連れて行ってくれた
3. 親(家族・親族など)が本や雑誌、漫画などを読んでいた
4. 自分の子供もが本や雑誌、漫画などを読んでいた
5. 友人・知人にすすめられて
6. 学校の先生や図書館職員などにすすめられて
7. 学校で読書に関する取組(朝の10分間読書など)があった
8. テレビや新聞などの宣伝・広告をみて
9. 【追加】インターネットやSNSで紹介動画を見て
10. 特定の著者や本に関心を持った
11. 足立区の施設で読書活動に関わるイベントに参加して
12. 知りたいことや調べたいことができた
13. 【削除】新型コロナウイルス感染症の影響により時間ができた
14. その他()

問10は問7で「3」を選んだ人のみお答えください。

問10. 【変更】あなたが運動・スポーツに関心を持つようになったきっかけは何ですか(○はいくつでも)。

1. 親(家族・親族など)と一緒に体を動かして遊んできた
2. 親(家族・親族など)が運動・スポーツをしていた
3. 自分の子供もが運動・スポーツをしていた
4. 友人・知人に誘われて
5. 学校の授業や行事・部活動の経験
6. テレビや新聞などの宣伝・広告をみて
7. テレビで大会や試合の様子を観て
8. 小説や漫画を通じて
9. ドラマや映画を通じて
10. イベントでトップレベルの選手と接して(引退した選手も含む)
11. 足立区の施設で運動・スポーツに関わるイベントに参加して
12. 美容・健康を意識して
13. 医師にすすめられて
14. 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を観て
15. 【削除】新型コロナウイルス感染症の影響により時間ができた
16. その他()

3. 文化芸術について

問1 1. あらためて文化芸術のジャンルについてお伺いします。以下の選択肢の中で、あなたが興味や関心があるものはどれですか（〇はいくつでも）。

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 音楽 | 9. 芸能（落語、寄席など） |
| 2. 美術 | 10. 生活文化（茶道、華道など） |
| 3. 写真 | 11. 食文化 |
| 4. 演劇 | 12. 国民娯楽（囲碁、将棋など） |
| 5. 舞踏・舞踊（日本舞踊、バレエ、ダンスなど） | 13. 歴史・文化財 |
| 6. メディア（映画、漫画、アニメなど） | 14. 郷土芸能（お囃子、獅子舞など） |
| 7. 伝統芸能（能、歌舞伎など） | 15. その他（ ） |
| 8. 文芸（俳句など） | 16. 特にない |

問1 2. あなたは、過去1年間に、文化ホールや美術館等の施設やイベント等で直接、または、オンラインやWEBやテレビで、文化芸術の作品を観たり、聴いたりしたことはありますか。ある人は、その内容もお答えください（〇は1つ）。

※ 学校の授業・課外活動は除きます。

- | |
|-----------------------|
| 1. 観たり、聴いたりした（主な内容： ） |
| 2. したかったが、できなかった |
| 3. しようと思わなかった |

問1 3は問1 2で「1」を選んだ人のみお答えください。

問1 3. 【削除】あなたは、どのようなきっかけで作品を観たり、聴いたりしましたか。足立区内・足立区外・オンラインやWEBやテレビなど、それぞれの施設やイベント等について、あてはまる番号を1つだけ選んでください。

【追加】あなたは、文化芸術の情報を、どのような手段で入手していますか（〇はいくつでも）。

- | | |
|------------|-------------|
| 1. インターネット | 5. 口コミ |
| 2. SNS | 6. ポスター・チラシ |
| 3. テレビ・ラジオ | 7. 雑誌・新聞 |
| 4. あだち広報 | 8. その他（ ） |

問14は問12で「2」または「3」を選んだ人のみお答えください。

問14. 【変更】過去1年間に、文化ホールや美術館等の施設やイベント等で直接、または、オンラインやWEBやテレビで、文化芸術の作品を観たり、聴いたりしなかった理由は何ですか（〇はいくつでも）。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 【削除】新型コロナウイルスの影響のため | 7. 場所や施設がないから |
| 2. 仲間がいないから | 8. お金に余裕がないから |
| 3. 楽しみ方がわからないから | 9. 文化芸術が嫌いだから |
| 4. 子どもに手がかかるから | 10. 面倒くさいから |
| 5. 病気やけがをしているから | 11. 文化芸術以上に大切なことがあるから |
| 6. 年をとったから | 12. その他（ ） |
| | 13. 特に理由はない |

問15. 【変更】あなたは、これまで文化芸術に関する創作や表現などを体験するイベントや講座に参加したことがありますか（〇は1つ）。

- | |
|--------------------|
| 1. 参加したことがある |
| 2. 参加したかったが、できなかった |
| 3. 参加しようと思わなかった |

問16は問14で「1」を選んだ人のみお答えください。

問16. 【削除】あなたは、問14のイベントの参加後に、何か文化芸術についておこなったことはありますか（〇はいくつでも）。

問16. あなたは、文化芸術に関わる活動をしておこなっていますか。おこなっている場合は、活動内容もお答えください（〇は1つ）。

※ 「活動」とは、趣味を含め、楽器を演奏する、絵画を描くなどの行為を指します。

- | |
|---------------------------|
| 1. おこなっている（活動内容： ） |
| 2. 過去におこなっていたが、今はおこなっていない |
| 3. おこないたいと思うが、おこなっていない |
| 4. おこなっていない |

問17は問16で「1」または「2」を選んだ人のみお答えください。

問17. 【削除】あなたは、その活動をどのようにおこなっていますか（いましたか）（〇はいくつでも）。

問 1 7. あなたは、^{あだちくない}足立区内や^すあなたの^{ちいき}住む^{でんとうげいのう}地域の^{ぶんかざい}伝統芸能や文化財などを^み観たり、^き聴いたり、^{たいけん}体験したりしたことはありますか（〇はいくつでも）。

1. ^{ちいき} 地域の ^{さいじ} 祭事など、 ^{ねんじゅうぎようじ} 年 中 ^{さんか} 行事に参加したことがある
2. ^{ちいき} 地域に ^{つた} 伝わる ^{でんとうげいのう} 伝統芸能を ^み 観たり、 ^き 聴いたりしたことがある
3. ^{ちいき} 地域に ^{つた} 伝わる ^{でんとうげいのう} 伝統芸能を ^{たいけん} 体験したことがある
4. ^{ちいき} 地域の ^{ぶんかざい} 文化財を ^み 観たことがある
5. ^{ちいき} 地域の ^{でんとうげいのう} 伝統芸能や ^{ぶんかざい} 文化財の ^{ほぞん} 保存に ^{かか} 関わっている
6. ^{きょうどはくぶつかん} 郷土博物館の ^{てんじ} 展示を ^み 観たことがある
7. ^{きょうどはくぶつかん} 郷土博物館の ^{さんか} イベントに参加したことがある
8. ^{かんしん} 関心はあるが、 ^{じっさい} 実際に ^み 観たり、 ^き 聴いたりしたことはない
9. ^み 観たり、 ^き 聴いたりしたことはない

問 1 8. あなたは、^{つぎ}次のことがどれくらいあてはまりますか。あてはある^{ばんごう}番号をそれぞれ1つだけ^{えら}選んでください。

※ ^{ほんせつもん}本設問は、^{あだちく}足立区^{ぶんかげいじゆつ}文化芸術^{すいしんけいかく}推進計画の^{せさく}施策の^{しんちよくじようきよう}進捗状況^{はあく}を把握するためのものです。

	そう 思う おも	そう 思う おも	どちらか といえ ば おも	どちらか といえ ば おも	そう 思わ ない おも	わ か ら な い
ア 足立区は文化芸術に親しめるまちである	1	2	3	4	5	
イ 足立区の文化芸術事業を評価できる	1	2	3	4	5	
ウ 足立区は子どもたちが文化芸術を楽しめる まちである	1	2	3	4	5	
エ 足立区の子どもに対する文化芸術事業を評価できる	1	2	3	4	5	
オ 足立区は参加・体験型の文化事業が多い	1	2	3	4	5	
カ 足立区は文化芸術活動が行いやすい	1	2	3	4	5	
キ 足立区は文化芸術活動への支援を十分にできている	1	2	3	4	5	
ク 足立区は文化芸術活動の成果を発揮できる 機会が十分にある	1	2	3	4	5	
ケ 足立区の文化財・文化遺産・伝統文化を誇りに思う	1	2	3	4	5	
コ 文化芸術に関する区の情報発信に満足している	1	2	3	4	5	
サ 足立区の連携事業及び交流の機会は充実している	1	2	3	4	5	
シ 足立区は文化芸術の推進に力を入れている	1	2	3	4	5	
ス 足立区の文化芸術の推進施策を評価できる	1	2	3	4	5	

4. 読書について

問19. 【変更】あなたは、最近1か月間に、次のことをしたことはありますか(○はいくつでも)。

※ ここでいう「本」、「漫画」、「雑誌」にはスマートフォンやパソコンなどで読む電子書籍も含みます。いずれも最後まで読み切っていなくてもかまいません。

※ 「新聞」には電子版のほか、オンライン上の新聞記事を読むことも含みます。

※ 学校の課題図書、授業で読んだ本や教科書も含みます。

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1. 本を読む | 6. 書店・古書店に行く |
| 2. 漫画を読む | 7. 【変更】本などの紹介動画や通販サイトをみる |
| 3. 雑誌を読む | 8. 【追加】気になったネット記事を読む |
| 4. 新聞(記事単体も含む)を読む | 9. 1～7のことをしたかったが、できなかった |
| 5. 図書館に行く | 10. 1～7のことをしようと思わなかった |

問20は問19で「1」～「8」を選んだ人のみお答えください。

問20. どのような方法で本を読みましたか(○はいくつでも)。

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 紙の本 | 4. パソコン |
| 2. スマートフォン | 5. 電子書籍専用端末 |
| 3. タブレット | 6. その他() |

問21は問19で「9」～「10」を選んだ人のみお答えください。

問21. 【変更】あなたが「できなかった」または「しなかった」理由は何ですか(○はいくつでも)。

- | | |
|--|-------------------------|
| 1. 本を読むことよりも時間をかけたいことや趣味があるから | 4. 年をとって本を読むことが難しくなったから |
| 2. 仕事・学校・家事・育児・介護など読書よりも時間をかけなければならないことがあるから | 5. どんな本を読めばいいかわからないから |
| 3. 本を読むことが嫌いだから | 6. その他 |

問22. どのくらいの頻度で電子書籍を読みましたか(○は1つ)。

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. ほぼ毎日読む | 4. ほとんど読まない |
| 2. 少なくとも週に1度は読む | 5. 読まない |
| 3. 少なくとも月に1度は読む | |

問23. 【変更】あなたが、過去1年間でおこなったことのある読書に関わる行動は何ですか（〇はいくつでも）。

1. 家族や友人に本や漫画、雑誌をすすめる
2. 家族や友人に本の感想や調べたことを話す
3. 家族や友人と本の貸し借りをする
4. 【削除】誰かと同じタイトルの本や漫画、雑誌を読む
5. 【削除】同じ著者の本を読む
6. 【削除】同じテーマの本を読む
7. 本の感想や調べたことを書く
8. 【変更】好きな著者の講演会や本をテーマとしたイベントに参加する
9. 【追加】インターネットやSNSで本や漫画、雑誌の紹介動画をみる
10. 【追加】インターネットやSNSで本や漫画、雑誌の紹介動画を紹介する
11. その他（ ）
12. 1～11のことをしていない

問24. 【変更】図書館を利用する目的は何ですか（〇はいくつでも）。

1. 本を読むため
2. 調べ物をするため
3. 勉強をするため
4. イベントに参加するため
5. 静かに過ごすため
6. 会話をするため
7. 子どもと一緒に過ごすため
8. 友人や家族と一緒に過ごすため
9. インターネットを使うため
10. その他（ ）
11. 図書館を利用していない（理由： ）

問25. 【追加】あなたが、ここ1年以内で一番利用する区立図書館はどこですか。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 中央図書館 | 9. 竹の塚図書館 |
| 2. 伊興図書館 | 10. 東和図書館 |
| 3. 梅田図書館 | 11. 舎人図書館 |
| 4. 興本図書館 | 12. 花畑図書館 |
| 5. 江北図書館 | 13. 保塚図書館 |
| 6. 佐野図書館 | 14. 江南コミュニティ図書館 |
| 7. 鹿浜図書館 | 15. やよい図書館 |
| 8. 新田コミュニティ図書館 | 16. 利用したことがない |

問26. 【追加】区立図書館は居心地がいいと感じますか。居心地が悪いと感じた場合は、その理由も教えてください。

1. いい
2. 悪い（理由： ）
3. わからない

問27. 【追加】区立図書館では気軽に相談ができますか。

1. はい
2. いいえ
3. わからない

問28. 【追加】区立図書館があつてよかったと思いますか。

1. とてもよかったと思う
2. よかったと思う
3. どちらでもない
4. あまりよかったと思わない
5. よかったと思わない

5. 運動・スポーツについて

問29. 【追加】あなたは、健康のために意識的に身体を動かすようにしていますか。

1. 意識している
2. あまり意識していない
3. 意識していない

問30. 【追加】日常生活の中で、意識して身体を動かすような行動をとっていますか（○はいくつでも）。

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 階段を使うようにしている | 4. 買い物ついでに散歩するようにしている |
| 2. 一駅分歩くようにしている | 5. 特に意識していない |
| 3. 自転車を利用している | |

問31. 【追加】あなたは、どのような運動・スポーツプログラムがあれば参加してみたいですか（○はいくつでも）。

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1. 初心者向けのストレッチやヨガ | 4. 障がいのある人と一緒に楽しめるプログラム |
| 2. シニア向けの健康体操 | 5. スポーツ体験イベント（種目体験など） |
| 3. 家族で参加できるイベント | 6. 特にない |

問32. 【追加】運動・スポーツをする際に、どのような支援や環境があればより取り組みやすくなりますか（○はいくつでも）。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 子どもを預けられる託児サービス | 4. 指導者や仲間とのマッチング機会 |
| 2. 費用の補助 | 5. 障がい者にも利用しやすい施設整備 |
| 3. 気軽に使える公園・広場の整備 | |

問33. 【追加】あなたは、地域で開催される運動・スポーツイベントに参加したことがありますか。

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問34. 【追加】スポーツイベントや教室の運営にボランティアとして関わりたいと思いますか。

1. 関わりたい
2. 条件が合えば関わりたい
3. 関わりたくない

問35. あなたは、過去1年間に、運動・スポーツを実施しましたか（○は1つ）。

※ 学校での体育の授業、運動会などの行事は含みません。

1. 実施した
2. 実施したかったが、できなかった
3. 実施しようと思わなかった

問36～問38は問35で「1」を選んだ人のみお答えください。

問36. あなたは、どれくらい運動・スポーツを実施しましたか（○は1つ）。

1. 週に3日以上	4. 3か月に1～2日
2. 週に1日以上	5. 年に1～3日
3. 月に1～3日	6. わからない

問37. あなたは、どのような場所や施設で運動・スポーツを実施しましたか（○はいくつでも）。

1. 自宅	4. 職場及び職場周辺（区外）
2. 自宅周辺	5. その他の場所（区内）
3. 職場及び職場周辺（区内）	6. その他の場所（区外）

問38. 【追加】運動・スポーツを実施して、あなたはどのように感じましたか。

1. ●●●●	4. ●●●●
2. ●●●●	5. ●●●●
3. ●●●●	6. ●●●●

問39は問35で「2」または「3」を選んだ人のみお答えください。

問39. 【変更】あなたが運動・スポーツを実施しなかった理由は何ですか（○はいくつでも）。

1. 【削除】新型コロナウイルスの影響のため	4. ●●●●
2. ●●●●	5. ●●●●
3. ●●●●	6. ●●●●

問40. あなたは、過去1年間に、体育館屋外運動場やアリーナ等の施設やイベント等で直接、または、オンラインやWEBやテレビで、運動・スポーツの大会や試合などを観たことはありますか。ある人は、その内容もお答えください（○は1つ）。

※ 学校の授業・課外活動は除きます。

1. 観た（主な内容：_____）
2. 観たかったが、観ることができなかった
3. しようと思わなかった

問41は問40で「1」を選んだ人のみお答えください。

問41. 【変更】あなたは、過去1年間に、どのようなきっかけで運動・スポーツの大会や試合などを観ましたか。

1. 家族・友人の誘い	4. ●●●●
2. 自分で調べた	5. ●●●●
3. たまたまみつけた	6. ●●●●

問●●は問●●で「2」または「3」を選んだ人のみお答えください。

問●●【削除】あなたが運動・スポーツの大会や試合を観なかった理由は何ですか（○はいくつでも）。

問4 2. 次の活動のうち、過去1年間にあなたが関わった運動・スポーツを支える活動はありますか（○はいくつでも）。

- | | |
|---------------------------------|--------------------------------|
| 1. 運動・スポーツの指導 | 7. スポーツの指導や審判などに関わる講習会・研修会への参加 |
| 2. スポーツの審判 | 8. パラスポーツ競技者のサポート（移動介助を含む） |
| 3. 教室・大会・イベントの運営や世話 | 9. その他（ ） |
| 4. 自身やあなたのお子さんが所属するクラブ・団体の運営や世話 | 10. 活動したかったが、する機会がなかった |
| 5. 大会やイベント会場での選手やチームの応援 | 11. 活動しなかった |
| 6. クラブ・団体や大会・イベントへの寄付 | |

問4 3は問4 2で「10」または「11」を選んだ人のみお答えください。

問4 3. 【変更】あなたが運動・スポーツを支える活動をしなかった理由は何ですか（○はいくつでも）。

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 【削除】新型コロナウイルスの影響のため | 9. 技術や資格がないとできないと思うから |
| 2. 仲間や一緒に参加する人がいないから | 10. 運動・スポーツが嫌いだから |
| 3. 一人でも活動できる場がないから | 11. 有償の活動が少ないから |
| 4. 子どもに手がかかるから | 12. 面倒くさいから |
| 5. 病気やけがをしているから | 13. 運動・スポーツ以上に大切なことがあるから |
| 6. 年をとったから | 14. その他（ ） |
| 7. 興味のある競技がないから | 15. 特に理由はない |
| 8. お金に余裕がないから | |

6. 文化・読書・スポーツに関わる活動について

問4 4. あなたは、文化・読書・スポーツを楽しむ人が増えることによって、まちにもたらされる効果は何だとおもいますか。文化・読書・スポーツそれぞれについてあてはまるものに○をご記入ください（○はいくつでも）。

	文化 ぶんか	読書 どくしょ	スポーツ
(例) 好奇心にあふれた人が増える	○	○	
1. 心身ともに健康な人が増える			
2. 健やかに、心豊かな子どもが育つ			
3. 自立して、やりたいことに取り組む人が増える			
4. 新しい、価値ある物事が発信されるようになる			
5. 住民同士が支え合い、助け合う雰囲気生まれる			
6. 多様性が尊重され、住みやすくなる			
7. 社会性や道徳観が高まり、安心して住めるようになる			
8. 地域の人々のコミュニティが形成され、深まる			
9. 地域の課題に主体的に取り組む人が増える			
10. 地域に対する愛着・誇りが高まる			
11. まちの魅力が高まる			
12. 効果はない			

問4 5. 【変更】区が推進する「ぶちスポ」「ぶちカル」「ぶち読み」をご存じですか（○は1つ）。

1. 参加した
2. 聞いたことはあったが 参加はしていない
3. 知らなかった

「ぶちスポ」「ぶちカル」「ぶち読み」とは

日常生活の中に少し「運動・スポーツ」、
「文化芸術」「読書」を取り入れて心豊かな生活を過ごしていただくことを目的に、
足立区内にある生涯学習センター・13地域学習センター・江南コミュニティ図書館の計15施設で実施するものです。




説明WEBページ

問4 6. 【変更】「ぶちスポ」「ぶちカル」「ぶち読み」に参加してみたいとおもいますか（○は1つ）。

1. 参加したいと思う	2. 参加したいとは思わない	3. わからない
-------------	----------------	----------

問●●【削除】^{しんがた}新型コロナウイルス^{かんせんしょうかくだいまえ}感染症拡大前^{ねん がつ}（2019年12月）と比較^{ひかく}して、文化・読書・スポーツ^{ぶんか どくしょ}の3分野^{ぶんや}に充てる時間^あに変化^{じかん へんか}はありましたか。あてはまる番号^{ばんごう}を、それぞれ1つだけ選んでください。

問●●【削除】^{しんがた}新型コロナウイルス^{かんせんしょうかくだいまえ}感染症拡大前^{ねん がつ}（2019年12月）と比較^{ひかく}して、文化・読書・スポーツ^{ぶんか どくしょ}の3分野^{ぶんや}の活動^{かつどう}について、満足^{まんぞく}していますか。あてはまる番号^{ばんごう}を、それぞれ1つだけ選んでください。

問●●【削除】^{しんがた}新型コロナウイルス^{かんせんしょうかくだいまえ}感染症拡大前^{ねん がつ}（2019年12月）と比較^{ひかく}して、文化・読書・スポーツ^{ぶんか どくしょ}の3分野^{ぶんや}の活動^{かつどう}（参加^{さんか}）の仕方^{しかた}に変化^{へんか}はありましたか。文化・読書・スポーツそれぞれについてあてはまるものに○をご記入^{きにゆう}ください（○はいくつでも）。

問●●【削除】^{しんがた}新型コロナウイルス^{かんせんしょうかくだいまえ}感染症拡大前^{ねん がつ}（2019年12月）と比較^{ひかく}して、文化・読書・スポーツ^{ぶんか どくしょ}の3分野^{ぶんや}の活動^{かつどう}（参加^{さんか}）において、対面^{たいめん}での実施^{じっし}の重要性^{じゅうようせい}に関する意識^{かん いしき}は、どのように変化^{へんか}しましたか（○は1つ）。

7. あなたの日常生活について

問47. あなたは、次のことがどのくらいあてはまりますか。あてはまる番号を、それぞれ1つだけ選んでください。

	あてはまる	あてはまる どちらかといえば	いえない どちらとも	あてはまらない どちらかといえば	あてはまらない
ア 自分の生活を楽しんでいる	1	2	3	4	5
イ 自分のやりたいことに取り組もうと思う	1	2	3	4	5
ウ 知らない物事を学ぼうと思う	1	2	3	4	5
エ 新しいことにチャレンジしようと思う	1	2	3	4	5
オ まわりの人の役に立とうと思う	1	2	3	4	5
カ 異なる考え方や価値観を尊重しようと思う	1	2	3	4	5
キ 自分の住む地域の人たちとつながりを持とうと思う	1	2	3	4	5

問48. あなたは、次のことを日常的におこなっていますか（○はいくつでも）。

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. 自分のやりたいことに取り組む | 4. まわりの人の役に立つことをする |
| 2. 知らない物事を学ぶ | 5. 異なる考え方や価値観を尊重する |
| 3. 新しいことにチャレンジする | 6. 自分の住む地域の人たちとつながりを持つ |

問49. あなたのご近所でのつきあいや地域での活動・イベントについて、実際におこなっていることを教えてください（○はいくつでも）。

※ なお、ここでの「近所の人たち」に家族・親族などは含みません。

1. 近所の人たちと挨拶している
2. 近所の人たちと親しくしている
3. 必要な時に近所の人たちに頼み事をしている
4. 町内会・自治会の活動・イベントに定期的に参加している
5. その他、地域の活動・イベントに定期的に参加している
6. 関心のある活動・イベントがあれば参加する
7. ご近所づきあいや地域の活動・イベントへの参加はない

問50は問49で「7」を選んだ人のみお答えください。

問50. 【変更】ご近所づきあいや地域活動をしない理由はなぜですか（○はいくつでも）。

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 【削除】新型コロナウイルスの影響のため | 7. 他人と関わりたくない |
| 2. 参加しても活動する時間が取れない | 8. 自分がやらなくても誰かがやってくれる |
| 3. 活動内容、参加方法がよくわからない | 9. 活動費用が負担である |
| 4. 関心がもてない、活動に魅力がない | 10. 活動しても地域がよくなるわけではない |
| 5. 役割などの責任が負担である | 11. 家族の理解が得られない |
| 6. メンバーが固定化していて馴染みに | 12. その他（ ） |

くい、敷居が高い

問5 1. あなたは足立区内に住む人と何らかのつながりがありますか（〇はいくつでも）。

※ 家族・親族、会社の同僚、学校の同級生、ご近所づきあいや地域の活動・イベント（問4 5でのつながり）以外で回答してください。

1. 同じ趣味や関心事を持つ人がいる
2. 食事に行ったり、遊んだりする気の合う人がいる
3. 同じサークルやグループで活動している人がいる
4. 一緒にボランティア活動をする人がいる
5. 一緒に何かを学ぶ人がいる
6. その他のつながりがある（ ）
7. つながりのある人はいない

問5 2. あなたは、次のことがどのくらいあてはまりますか。あてはまる番号を、それぞれ1つだけ選んでください。

	あてはまる	あてはまる どちらかといえば	どちらともいえない	あてはまらない どちらかといえば	あてはまらない
ア 足立区に愛着を持っている	1	2	3	4	5
イ 足立区に誇りを持っている	1	2	3	4	5
ウ 足立区を人にすすめたい	1	2	3	4	5
エ 仕事や学業、家事などのほか、趣味や自分の 楽しみのために使える時間が充分取れている	1	2	3	4	5
オ 食費や光熱費などの生活に必要な不可欠な費用 のほか、趣味や自分の楽しみのために使えるお 金が充分得られている	1	2	3	4	5

問5 3. 文化・読書・スポーツのそれぞれについて、あなたが日頃お考えになっていることがあれば自由にご記入ください。

文化	
読書	
スポーツ	

以上でアンケート調査は終了です。ご協力ありがとうございました。



足立区 文化・読書・スポーツに関するアンケート調査

ご回答いただく皆様へ

ご回答いただいた内容は、すべて個人が特定できないよう統計的に処理し、お名前や個別のご意見がそのまま公表されることはありません。また、統計の報告以外の目的には使用いたしません。ぜひ率直なご意見をお聞かせください。

- 「保護者向け調査」には保護者の方ご本人が、「子ども向け調査」にはお子さんご本人がお答えください。もし、ご本人がご記入いただけないときは、身近な方が、ご本人の意見を聞きながら記入してくださいませよう願いいたします。万一、ご病気などでお答えいただけない場合や、読みたくない、回答したくない場合は、無理にすべての設問を回答しなくてもかまいません。可能でしたら、ご回答いただける質問のみでもお答えいただければ幸いです。
- ご記入は、黒のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
- お答えは、あてはまる番号に○印をつけてください。
- 質問によっては、回答していただく方や○をつける数を指定しておりますので、（ ）内のことわり書きをよくお読みください。
- 「その他」にあてはまる場合は、（ ）内にできるだけ具体的にその内容を記入してください。
- この調査票は、無記名式となっています。調査票と返信用封筒には、ご住所・お名前をご記入いただく必要はありません。

ご記入いただきました調査票は、調査票が入っていた封筒に入れ、11月1日（月）までに学級担任にご提出ください。

この調査は足立区がおこなっており、学校は配付等のみの協力です。調査の内容、考え方、記入のしかたなどについて、わからないことがございましたら、足立区の下記担当までご連絡ください。

【お問い合わせ先】 足立区地域のちから推進部生涯学習支援課
電話：03-3880-8017

メール：sg-shien@city.adachi.tokyo.jp

保護者向け調査

はじめに、回答される方ご自身について教えてください。

問1. あなたの性別をお答えください（○は1つ）。

1. 男性 2. 女性 3. どちらでもない 4. 無回答

問2. あなたの年齢をお答えください（令和●年●月●日現在、○は1つ）。

1. 19歳以下 2. 20～24歳 3. 25～29歳 4. 30～34歳 5. 35～39歳 6. 40～44歳 7. 45～49歳 8. 50～54歳 9. 55～59歳 10. 60～64歳 11. 65～69歳 12. 70～74歳 13. 75～79歳 14. 80歳以上

問3. あなたはそのお子さんにとっての何にあたりますか（○は1つ）。

1. 母親・父親 2. 祖父母 3. その他（ ）

1. あなたの文化・読書・スポーツに対する関心・行動について

ここからの質問に出てくる「文化芸術」「読書」「運動・スポーツ」は以下のことを指します。

【言葉の定義】

- 文化芸術：音楽、美術、演劇、舞踊、芸能（歌舞伎、能・狂言、雅楽など）、文化財・遺跡、華道、書道、茶道、盆栽、映画など
- 読書：本や雑誌、漫画などを読むこと。電子書籍（紙に印刷された本ではなく、画面で読む本や雑誌のこと）も含みます。
- 運動・スポーツ：競技スポーツに限らず、健康増進のための軽い体操やウォーキングのほか、エレベーターを使わずに階段を使う、バス停1つ分を歩くなどの目的をもった身体活動を含みます。

問4. あなたは、次のことに関心がありますか（○はいくつでも）。

※ 現在、文化芸術、読書、運動・スポーツに関わる活動をおこなっていないなくても、関心があれば「1」～「3」に○をご記入ください。

1. 文化芸術（観たり、聴いたり、創作すること）
2. 読書
3. 運動・スポーツ（実施したり、観戦したり、支援すること）
4. 文化芸術、読書、運動・スポーツ以外のことに関心がある（ ）
5. 特に関心のある分野はない

問5. あなたは、過去1年間に、文化ホールや美術館等の施設やイベント等で直接、または、オンラインやWEBやテレビで、文化芸術の作品を観たり、聴いたりしたことはありますか。ある人は、その内容もお答えください（○は1つ）。

1. 観たり、聴いたりした（主な内容： _____）
2. したかったが、できなかった
3. しようと思わなかった

問6. 【変更】あなたは、最近1か月間に、次のことをしたことはありますか（○はいくつでも）。

※ ここでいう「本」、「漫画」、「雑誌」にはスマートフォンやパソコンなどで読む電子書籍も含みます。いずれも最後まで読み切っていなくてもかまいません。

※ 「新聞」には電子版のほか、オンライン上の新聞記事を読むことも含みます。

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1. 本を読む | 6. 書店・古書店に行く |
| 2. 漫画を読む | 7. 【変更】本などの紹介動画や通販サイトをみる |
| 3. 雑誌を読む | 8. 【追加】気になったネット記事を読む |
| 4. 新聞（記事単体も含む）を読む | 9. 1～8のことをしたかったが、できなかった |
| 5. 図書館に行く | 10. 1～8のことをしようと思わなかった |

問7. あなたは、過去1年間に、運動・スポーツを実施しましたか（○は1つ）。

1. 実施した
2. 実施したかったが、できなかった
3. 実施しようと思わなかった

問8は問7で「1」を選んだ人のみお答えください。

問8. あなたは、どれくらい運動・スポーツを実施しましたか（○は1つ）。

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 週に3日以上 | 4. 3か月に1～2日 |
| 2. 週に1日以上 | 5. 年に1～3日 |
| 3. 月に1～3日 | 6. わからない |

問9. あなたは、次のことがどのくらいあてはまりますか。あてはまる番号を、それぞれ1つだけ選んでください。

	あてはまる	あてはまる どちらかといえば	どちらともいえない	あてはまらない どちらかといえば	あてはまらない
ア 仕事や学業、家事などのほか、趣味や自分の 楽しみのために使える時間が充分取れている	1	2	3	4	5
イ 食費や光熱費などの生活に必要な 費用のほか、趣味や自分の楽しみのために使 えるお金が充分得られている	1	2	3	4	5
ウ 仕事や学業、家事などを除き、 <u>あなたのお子 さんの</u> 趣味や楽しみのために使える時間が 充分取れている	1	2	3	4	5
エ 食費や光熱費などの生活に必要な 費用を除き、 <u>あなたのお子さんの</u> 趣味や楽し みのために使えるお金が充分得られている	1	2	3	4	5

問●●【削除】新型コロナウイルス感染症拡大前（2019年12月）と比較して、文化・読書・スポーツの3分野に充てる時間に変化はありましたか。あてはまる番号を、それぞれ1つだけ選んでください。

問●●【削除】新型コロナウイルス感染症拡大前（2019年12月）と比較して、文化・読書・スポーツの3分野の活動について、満足していますか。あてはまる番号を、それぞれ1つだけ選んでください。

2. あなたのお子さんのことについて

※ 次からの設問は、この調査票をお持ち帰りいただいたお子さんのことをお答えください。

問10. あなたのお子さんの性別をお答えください（○は1つ）。

1. 男子	2. 女子	3. どちらでもない	4. 無回答
-------	-------	------------	--------

問11. 【変更】あなたのお子さんについて、過去1か月間の様子にあてはまる番号を、それぞれ1つだけ選んでください。

	まったくこのとおり	だいたいこのとおり	少し合っている	ほとんど合っていない	まったくちがう
ア 【変更】将来、未来について、明るく話す	1	2	3	4	5
イ 自分のベストを尽くそうとする	1	2	3	4	5
ウ 【変更】馬鹿にされたり、悪口を言われても、うまく対処することができる	1	2	3	4	5
エ 【変更】他人にきちんと挨拶することができる	1	2	3	4	5
オ 大人が指示しなくとも、自ら学校の準備、宿題、家の手伝いができる	1	2	3	4	5
カ 必要な時には適切にアドバイスを求めることができる	1	2	3	4	5
キ 将来よい結果となるように、今欲しいものをあきらめたり、嫌なことでも実行することができる	1	2	3	4	5
ク 自分がわからなかったことを知るために、質問をすることができる	1	2	3	4	5

問 1 2. あなたのお子さんは、学校の授業以外で美術や音楽、ダンスなどの文化的な活動をして
いますか（○はいくつでも）。

1. 美術の習い事（絵画、造形など）
2. 音楽の習い事（ピアノ、電子オルガンなど）
3. バレエなどの舞踊、ダンス、演劇などの習い事
4. 華道、茶道、書道などの習い事
5. 学校のクラブ活動・部活動
6. その他（)
7. していない

問 1 3. 一般的に、子どもが文化・読書・スポーツを楽しむことで得られるものは何だと思いき
か。それぞれの分野について3つまで選び、番号をお書きください。

- (例)
- ※ 番号は重複してもかまいません。
- ※ 各分野について番号は3つまで。

文化	4	8	1 1
文化			
読書			
スポーツ			

1. 自分のやりたいことに向かって心と体を働かせる意欲
2. 何事もおきらめずにやりとげる意欲
3. 自分自身が価値のある存在だと思う気持ち
4. 新しい考えを生み出し、自分の考えをより良いものにする意欲
5. 感じたことや考えたことを自分で表現する意欲
6. 他者とのコミュニケーションを楽しむ意欲
7. 相手の立場に立って行動する意欲
8. 他者の意見や価値観を尊重する気持ち
9. 社会の決まりやルールを守る気持ち
10. 身近な人にとって役に立とうとする意欲
11. 他人と協力・協調する気持ち
12. 自分の住む地域やまちへの愛着や誇り
13. その他()
14. わからない
15. 特にない

※ 次からの設問は、この調査票をお持ち帰りいただいたお子さんの
 小学校入学直前1年間の様子を振り返ってお答えください。

問14. 文化・読書・スポーツに関わる活動のうち、あなたのお子さんが好きなことは何でしたか
 (〇はいくつでも)。

1. 絵を描くことや、観ること (塗り絵を楽しむことも含む)
2. 音楽を聴くことや、演奏すること (歌うことも含む)
3. ダンスをすること
4. 映画やアニメを観ること
5. 本を読むことや、読み聞かせてもらうこと
6. 図鑑などで何かを調べること
7. 外遊びなど、体を動かすこと
8. 水泳やサッカー、野球などのスポーツをすること
9. スポーツの試合を観ること
10. その他()
11. 文化・読書・スポーツのいずれも関心がなかった

問15. あなたのお子さんには、幼稚園・保育園での活動以外で、次のことをさせていましたか
 (〇はいくつでも)。

- | | |
|---|---------------------------|
| 1. 文化ホールやコンサート会場に出かけて文化芸術の作品を観たり、聴いたりすること | 4. 映画館で映画やアニメを観ること |
| 2. 美術館や展覧会に出かけて文化芸術の作品を観ること | 5. 音楽や美術、ダンスなどの習い事 |
| 3. 劇場などで演劇やダンス、芸能などを観たり、聴いたりすること | 6. 工作やものづくりなどのワークショップへの参加 |
| | 7. 1～6のいずれもさせなかった |

問16. あなたのお子さんは、幼稚園・保育園での活動以外で、本を読んでいたか (大人が読み聞かせる場合も含む) (〇は1つ)。

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. よく読んでいた | 3. 読まなかった |
| 2. ときどき読んでいた | |

問 1 7. あなたのお子さんは、本を読む以外に、次のことをしていましたか（○はいくつでも）。

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 図鑑などで何かを調べた | 4. 読み聞かせのイベントに参加した |
| 2. 図書館に行った | 5. 1～4 のいずれもしなかった |
| 3. 書店に行った | |

問 1 8. あなたのお子さんは、幼稚園・保育園での活動以外で、30分以上からだを動かす遊びや習い事に行くことが、1週間あたりでどれくらいありましたか（○は1つ）。
（例：ボール遊び・自転車・サッカー・野球・空手・剣道・体操・バレエ・水泳 など）

- | | |
|---------|---------|
| 1. 1～2回 | 4. 7回以上 |
| 2. 3～4回 | 5. なかった |
| 3. 5～6回 | |

問 1 9は問 1 5で「7」、問 1 6で「3」、問 1 8で「5」を1つでも選んだ人のみお答えください。

問 1 9. 【変更】あなたのお子さんにさせなかった、またはお子さんがしなかった理由は何か。それぞれの分野について3つまで選び、番号をお書きください。

- (例)
- ※ 番号は重複してもかまいません。
 - ※ 各分野について番号は3つまで。
 - ※ あてはまる理由がない場合は、空欄で構いません。

文化	4	8	11
文化			
読書			
スポーツ			

1. お金がかかるから
2. 身近に体験・活動できる機会がなかったから
3. 身近に自分や配偶者の仲間がなかったから
4. 自分や配偶者が仕事で忙しくて時間がなかったから
5. 自分や配偶者が家事・育児で忙しくて時間がなかったから
6. 自分や配偶者が文化・読書・スポーツに関心がなかったから
7. 子どもに文化・読書・スポーツをさせる機会について情報がなかったから
8. どのように体験・活動させてよいかわからなかったから
9. 子どもが文化・読書・スポーツをきらいだったから
10. 子どもの健康上の都合で
11. その他（ ）
12. 特にない

以上で保護者向けのアンケート調査は終了です。ご協力ありがとうございました。
次のページからはお子さんがご回答ください。

子ども向け調査

問1. あなたは、次のことが好きですか（○はいくつでも）。

1. 絵を描くことや、観ること（塗り絵を楽しむことも含む）
2. 音楽を聴くことや、演奏すること（歌うことも含む）
3. ダンスをすること
4. 映画やアニメーションを観ること
5. 本を読むことや、読み聞かせてもらうこと
6. 図鑑などで何かを調べること
7. 外遊びなど、体を動かすこと
8. 水泳やサッカー、野球などのスポーツをすること
9. スポーツの試合を観ること
10. その他（ ）
11. 文化・読書・スポーツのいずれも関心がなかった

問2. あなたは、1年前から今までの間、学校行事以外で、絵や映画、お芝居などを観たり、音楽を聴いたりしたことはありますか（○はいくつでも）。

1. 文化ホール、美術館、博物館、映画館などに行った
2. イベント、お祭りなどに行った
3. スマートフォン・パソコン・タブレット端末などを使ったオンラインやWEB、テレビで観たり聴いたりした
4. 観たり、聴いたりしていない

問3は問2で「1」～「3」を選んだ人のみお答えください。

問3. 【削除】あなたは、どのようなきっかけがあれば、絵や映画、お芝居などを観たり、音楽を聴いたりするようになると思いますか（○はいくつでも）。

【追加】あなたは、文化芸術の情報を、どのような手段で入手していますか（○はいくつでも）。

- | | |
|------------|-------------|
| 1. インターネット | 5. 口コミ |
| 2. SNS | 6. ポスター・チラシ |
| 3. テレビ・ラジオ | 7. 雑誌・新聞 |
| 4. あだち広報 | 8. その他（ ） |

問4. 【変更】あなたは、この1か月の間、本や新聞などを読んだり、図書館に行ったりしましたか。読んだり、行ったりしたことがあるものをすべて選んでください。スマートフォンなどで読んだ場合も含みます（○はいくつでも）。

1. 本を読んだ	6. 本屋に行った
2. 新聞を読んだ	7. 【変更】本などの紹介動画や通販サイトをみた
3. 雑誌を読んだ	8. 【追加】気になったネット記事を読んだ
4. マンガを読んだ	9. 【追加】1～7のことをしたかったが、できなかった
5. 区の図書館に行った	10. 【追加】1～7のことをしようと思わなかった

問5は問4で「1」～「8」を選んだ人のみお答えください。

問5. あなたは、どのような方法で本を読みましたか（○はいくつでも）。

1. 紙の本	4. パソコン
2. スマートフォン	5. 電子書籍専用端末
3. タブレット	6. その他（ ）

問6は問4で「9」～「10」を選んだ人のみお答えください。

問6. あなたは、どのようなきっかけがあれば、本を読むようになるとおもいますか（○はいくつでも）。

1. 図書館に読みたい本がある	5. 一緒に本を楽しむ友人と出会える
2. 身近な場所で本が手にとれる	6. その他（ ）
3. 読みたい本を紹介してくれる	7. わからない
4. 読書の楽しさを教えてくれる	

問7. あなたは、どのくらいの頻度で電子書籍を読みましたか（○は1つ）。

※ 電子書籍とは、紙に印刷された本ではなく、画面で読む本や雑誌のことです。

1. ほぼ毎日読む	4. ほとんど読まない
2. 少なくとも週に1度は読む	5. 読まない
3. 少なくとも月に1度は読む	



問8. あなたは、授業で利用する以外で、通っている学校の図書館・図書室にどのくらい行きますか（○は1つ）。

1. 週に1回以上	2. 月に2回以上	3. 月に1回程度	4. 行かない
-----------	-----------	-----------	---------

問9は問8で「1」～「3」を選んだ人のみお答えください。

問9. あなたが、学校の図書館・図書室に行くときは、どのようなときですか（○はいくつでも）。

1. 本を読みたいとき	4. その他（ ）
2. 何かを調べたいとき	5. 特に目的はない
3. 宿題や勉強をするとき	

問10. 学校以外で30分以上からだを動かす遊びや習い事に行くことが、1週間あたりでどれくらいありますか(○は1つ)。

(例: ボール遊び・自転車・サッカー・野球・空手・剣道・体操・バレエ・水泳 など)

- | | |
|------------------|---------|
| 1. ほとんどしない・全くしない | 4. 5～6回 |
| 2. 1～2回 | 5. 7回以上 |
| 3. 3～4回 | |

問11～問14は問10で「1」を選んだ人のみお答えください。

問11. 【追加】あなたは、どこで運動・スポーツをしましたか。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 学校の中 | 4. ならいごとの場所 |
| 2. 学校の外(公園など) | 5. 特に決まった場所はない |
| 3. 家の中 | |

問12. 【追加】運動・スポーツを実施して、あなたはどのように感じましたか。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 楽しかった | 6. 体がきたえられた |
| 2. ストレスがすっきりした | 7. 友達が増えた |
| 3. 気持ちが元気になった | 8. 自信がついた |
| 4. 眠れるようになった | 9. 特に何も感じなかった |
| 5. 風邪をひきにくくなった | 10. その他() |

問13. 【追加】あなたは、どのようなときに運動・スポーツを実施したいと思いますか。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 友達と一緒にできるとき | 5. 自分が上手くなったと感じたとき |
| 2. 学校や児童館でイベントがあるとき | 6. 運動・スポーツをする時間があつたとき |
| 3. テレビやYouTubeなどでみたとき | 7. 特にない |
| 4. コーチや先生にほめられたとき | |

問14. あなたは、どのようなきっかけがあれば、運動・スポーツをするようになるとおもいますか(○はいくつでも)。

- | |
|-------------------------------|
| 1. 親と一緒に運動・スポーツができる |
| 2. 兄弟、姉妹や友達と一緒に運動・スポーツができる |
| 3. トップアスリートと一緒に運動・スポーツができる |
| 4. 公園など、近所で運動・スポーツができる |
| 5. 無料で運動・スポーツができる場所やイベントがある |
| 6. レベルを気にせず参加できる機会がある |
| 7. 楽しみ方や技術を教えてくれる |
| 8. プロの試合やトップアスリートの大会を観ることができる |
| 9. その他() |
| 10. わからない |

問15. あなたは、1年前から今までの間、学校行事や授業以外で、運動・スポーツの大会や試合などを観戦しましたか（○はいくつでも）。

1. 足立区内の施設やイベントで観戦した
2. 足立区外の施設やイベントで観戦した
3. スマートフォン・パソコン・タブレット端末などを使ったオンラインやWEB、テレビで観戦した
4. 観戦していない

問16. あなた自身についてお聞きします。いつもの自分にいちばんよく合う答えを、それぞれ1つだけ選んでください。

	はい	はい ええ どちらかと	いい ええ どちらかと	いい ええ
ア 自分に、自信がありますか	1	2	3	4
イ たいていのことは、人よりうまくできると思いますか	1	2	3	4
ウ 自分には、人にじまんできるところがたくさんあると思いますか	1	2	3	4
エ 何をやってもうまくいかないような気がしますか	1	2	3	4
オ 今の自分に、まんぞくしていますか	1	2	3	4
カ 自分はきっと、えらい人になれると思いますか	1	2	3	4
キ 自分は、あまり役に立たない人間だと思いますか	1	2	3	4
ク 自分の意見は、自信をもって言えますか	1	2	3	4
ケ 自分にはあまりいいところがないと思いますか	1	2	3	4
コ 失敗をするのではないかと、いつも心配ですか	1	2	3	4
サ あなたは自分が健康だと思いますか	1	2	3	4
シ ふだんの生活を楽しいと思いますか	1	2	3	4

問●●【削除】新型コロナウイルス感染症拡大前（2019年12月）と比較して、文化・読書・スポーツの3分野に充てる時間に変化はありましたか。あてはまる番号を、それぞれ1つだけ選んでください。

問●●【削除】新型コロナウイルス感染症拡大前（2019年12月）と比較して、文化・読書・スポーツの3分野の活動について、満足していますか。あてはまる番号を、それぞれ1つだけ選んでください。

以上で子ども向けのアンケート調査は終了です。ご協力ありがとうございました。
ご記入が終わりましたら、この調査票が入っていた封筒に入れ直して、封をして
お子さんを通じて担任の先生にお渡しください。